

# 平成28年度 当初予算主要事業要求資料

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 企業立地推進事業

## 1 事業の趣旨

これまでの工場誘致に加え、平成26年度から本社や中四国支店等の広域的営業拠点、平成27年度から総務、経理、研修、研究開発部門等の本社機能の一部も誘致対象に加えたところであり、平成28年度からは、この度の国の地域再生法に基づく地方拠点強化税制に要件を揃えて、市内本社企業の本社機能の移転も対象に加え、岡山を創業の地とする企業の更なる拠点強化を図り、事務系職種の雇用の創出を図ります。

## 2 事業内容

○岡山市企業立地促進奨励金

- ・一般製造工場等を立地する企業に対し奨励金を交付

○岡山市本社・中四国支店等立地推進事業

- ・本社、本社機能(総務、経理、研修、研究開発部門等)、中四国支店等広域営業拠点等を立地する企業に対し補助金を交付
- ・市内本社企業も新たに人材確保奨励金の対象とする【拡充】

○岡山市都市型サービス産業推進事業

- ・コールセンター等を立地する企業に対し補助金を交付
- ・2回目以降の増設の場合等も補助対象とする【拡充】

## 3 要求額

(1)歳出額 72,375 千円

(2)財源内訳

・一般財源 72,375 千円

(前年度当初予算額 68,776 千円)

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	企業立地推進担当課長 佐古 和之
電 話	内線 4515
	直通 086-803-1328

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 空港南産業団地整備事業 新規

## 1 事業の趣旨

交通の利便性に優れ災害リスクの低い県南内陸部は、企業からの引き合いが多い一方、現状では市内の企業用地は不足しており、その確保が課題となっています。

そこで、県の元第2リサーチパーク用地を活用し、県と共同で産業団地を開発することで企業ニーズに合った用地を確保することにより、企業誘致を進め、雇用を確保し、企業と人の地方移転を促進します。

## 2 事業内容

### (1)実施内容

未利用県有地である元第2リサーチパーク用地を活用し、岡山県と共同で産業団地整備を行う。

団地名称： 空港南産業団地

開発主体： 岡山県、岡山市

位 置： 岡山市北区富吉地内

事業面積： 約27ha(開発面積 約24ha)

分譲面積： 約10ha(3区画)

概算事業費： 約48.5億円(県:約40.2億円、市:約8.3億円)

(分譲地売却益を除いた実質負担額 県:10.2億円、市:8.3億円)

### (2)開発スケジュール(予定)

造成工事： 平成28～30年度

(平成28年度は下水道事業を実施)

分譲開始： 平成30年度

## 3 要求額

(1)歳出額 25,032 千円

(2)財源内訳

・一般財源 25,032 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	企業立地推進担当課長 佐古 和之
電 話	内線 4515
	直通 086-803-1328

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 ヘルスケア産業創出・育成事業

## 1 事業の趣旨

健康で心豊かな暮らしをサポートする機器、サービス、システム等、経済産業分野におけるすべての事業及び商品を対象分野としたヘルスケア産業において、異業種交流や消費者ニーズのフィードバック等を通じて、常に新しい事業の創出や商品開発を目指します。

## 2 事業内容

- ヘルスケア産業に関するマーケティング調査、市内企業に対する可能性調査等
- 地域版協議会、事業化モデル、創業・商品開発支援制度等の検討
- 調査等報告会、シンポジウム等の開催
- 研究会(ワーキンググループ)への支援(試作・検証支援等)
- 試作機器開発補助等

## 3 要求額

(1)歳出額 26,670 千円

(2)財源内訳

・一般財源 26,670 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1323

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地場産業振興事業

## 1 事業の趣旨

市内中小ものづくり企業等の新規取引先の開拓や販路拡大、あるいは優れた技術力や製品開発力を生かした付加価値の高く競争力のある新たな商品・試作開発やビジネスの創出を支援していくことで産業振興を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 内容

#### ①オンリーワン企業育成支援事業

・岡山県産業振興財団と連携し、中小ものづくり企業等による商品化の研究・試作開発に対し補助金を交付

#### ②販路拡張助成事業

・中小ものづくり企業等が県外見本市等に出展する際の小間料等を補助

#### ③岡山大学連携型起業家育成施設入居者支援事業

・岡山大学内に整備した「岡山大インキュベータ」に入居する中小企業へ賃料を補助

#### ④戦略的販路開拓・ハンズオン支援事業(見本市等出展支援事業)

・中小ものづくり企業等が県外見本市等に出展する際に、専門家を派遣し出展前の準備段階、出展日当日、出展後のフォローまで一貫したアドバイス等の支援を実施

#### ⑤戦略的販路開拓・ハンズオン支援事業(ブランド力向上支援事業)

・中小ものづくり企業等の売れる商品開発やブランド力向上に繋がるよう、専門家によるアドバイスを実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 39,850 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 39,850 千円

(前年度当初予算額 31,548 千円)

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1323

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 商業振興事業

## 1 事業の趣旨

中心市街地の商店街は、歩行者通行量の減少や空き店舗の増加など厳しい状況にあるため、商店街における特徴的な取組や時流に乗った取組を支援し、魅力の向上による誘客を図ります。

## 2 事業内容

### ①個性創出事業

・イベントやマップ作成等に対する補助

### ②個店研修事業

・個店の魅力アップのための研修に対する補助

### ③空き店舗対策事業

・店舗改装に対する補助

### ④基盤整備事業

・アーケード等共同利用施設の整備改修等に対する補助

### ⑤商店街活性化支援事業(商店街のやる気の後押し)

#### ○商店街が自ら実施する事業

・商店街活性化勉強会・研修等に対する補助

・商店街活性化計画策定に対する補助

・計画に基づく店舗を開店する際の店舗改装費等に対する補助

#### ○NPO法人や民間企業等が商店街と連携して実施する事業【新規】

・NPO法人や民間企業等が商店街と連携し実施する商店街活性化事業に対する補助

## 3 要求額

(1)歳出額 35,791 千円

(2)財源内訳

・一般財源 35,791 千円

(前年度当初予算額 45,200 千円)

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1323

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 商工業近代化指導事業

## 1 事業の趣旨

市内中小企業が厳しい環境に対応していくために、各種セミナーの開催、人材育成研修の開催及び販路開拓支援等を行い、中小企業の活性化を図るとともに、起業支援による市内起業の増加を図ります。

## 2 事業内容

### ○創業支援事業

- ・創業相談事業（創業希望者への創業相談）
- ・創業セミナー事業（創業希望者への研修事業）
- ・女性向け創業セミナー事業（女性に特化した創業希望者への研修事業）
- ・起業家塾事業（創業希望者への起業支援）
- ・起業家塾フォローアップ事業（創業者・創業準備者へのフォローアップ事業）
- ・創業者支援事業（創業に要する経費に対する補助）

### ○経営支援事業

- ・中小企業向け経営セミナー事業（経営・財務等の研修事業）
- ・中小企業向け人材育成事業（企業のリーダー層、中堅若手層への研修事業）
- ・経営改革支援事業（設備投資に要する経費に対する補助）
- ・情報発信事業（販路開拓に要する経費に対する補助）

## 3 要求額

(1)歳出額 98,369 千円

(2)財源内訳

・一般財源 98,369 千円

(前年度当初予算額 3,243 千円)

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1323

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 中小企業融資制度資金貸付事業

## 1 事業の趣旨

市内中小企業に対する事業資金の調達が円滑に行われるように融資制度を運営し、企業の資金繰りを支援していくことで本市中小企業の健全な育成・発展を図ります。

## 2 事業内容

- 岡山市中小企業融資制度事業（中小企業向け融資制度の運営）
- 中小企業融資制度利子補給金事業（融資制度取扱金融機関への利子補給）
- 中小企業融資制度保証料補給金事業（岡山県信用保証協会への保証料補給）
- マル経融資利子補給事業（マル経融資利用者への利子補給）

## 3 要求額

(1)歳出額 42,064 千円

(2)財源内訳

・一般財源 42,064 千円

(前年度当初予算額 39,247 千円)

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1323



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 雇用対策等事業

## 1 事業の趣旨

人材確保に苦慮している市内企業の情報発信を支援し、市内中小企業等を知る機会を設け、市内企業と新規学卒者等の就職マッチングを図ります。

## 2 事業内容

### (1) 内容

#### ①UIJターンを意識した合同企業説明会開催事業

主に首都圏就学の学生等を対象とした市内中小企業等による合同企業説明会を開催

#### ②新規学卒者等合同企業説明会等開催事業

主に市内就学の学生等を対象とした市内中小企業等による合同企業説明会や合同就職面接会を開催

#### ③求人・企業情報開拓事業

市内中小企業等の求人情報や企業情報を開拓し、新規学卒者等に提供

#### ④マザーズ出張相談開催事業

おかやまマザーズハローワーク(国)と共同で、市内ふれあいセンター等において出張相談を開催

#### ⑤ジョブマッチング事業【新規】

若年求職者に市内中小企業等における就業体験の機会等を提供

## 3 要求額

(1) 歳出額 21,651 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 21,651 千円

(前年度当初予算額 8,800 千円)

担当課名	経済局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1323

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 都心創生まちづくり構想推進事業

## 1 事業の趣旨

平成25年度末に策定した「都心創生まちづくり構想」や、これまで実施してきた社会実験等の成果に基づき、旧内山下小学校跡地の活用について引き続き検討するとともに、岡山城を中心とした魅力づくりや回遊性の向上、隣接する石山公園の再整備、旭川かわまちづくりの計画との連携・調整を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 石山公園等を活用した賑わいの創出

歴史文化ゾーンの回遊拠点となる石山公園で、10月から11月にかけて開催する岡山芸術交流や、9月から11月かけて実施するオープンカフェ社会実験に合わせ、「食」にテーマを置いた催しを実施し賑わいの創出を図ります。

開催期間 平成28年10月～11月

### (2) 旧内山下小学校を活用した賑わいの創出

都心創生まちづくり構想に基づき旧内山下小学校跡地の今後の活用について、引き続き社会実験的な活用を行いながら検討を進めます。

開催期間 平成28年9月～11月

## 3 要求額

(1) 歳出額 27,876 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 27,876 千円

(前年度当初予算額 1,400 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	地域政策担当課長 赤坂 隆
電 話	内線 3584
	直通 086-803-1042

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 回遊性向上社会実験事業(県庁通り・西川緑道公園筋)

## 1 事業の趣旨

車から歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくりを進めるため、県庁通りにおいて交通規制を伴う社会実験を行い、にぎわい創出の効果、歩行者、自動車交通等への影響などの検証を行います。

また、西川緑道公園筋においても、西川パフォーマー事業にあわせた歩行者天国化による賑わいづくりについて、市民主体の運営のあり方を探ります。

## 2 事業内容

### (1)区 間

- ①県庁通り(市役所筋から表町商店街まで) ※交通規制は、市役所筋から柳川筋まで
- ②西川緑道公園筋(平和橋から桶屋橋まで)

### (2)概 要

#### ①県庁通り

平日を含む連続した数日間、県庁通りにおいて車道一車線の交通規制により生じた空間を自転車走行空間とすることでの効果・影響を検証するとともに、土日には、沿道の協力を得て賑わい演出もあわせて行い、歩いて楽しい道路空間の検証を行います。

#### ②西川緑道公園筋

西川緑道公園筋西側市道(平和橋～桶屋橋)歩行者天国化の定期開催を視野に、沿道店舗と連携した賑わいづくりを行うとともに、市民を主体とした運営の仕組みづくりを目指した社会実験を実施します。

### (3)実施時期

- ①県庁通り 秋ごろを目途に数日間
- ②西川緑道公園筋 西川パフォーマー事業開催日等の土・日・祝日のうち計5日間

## 3 要求額

(1)歳出額 109,800 千円

### (2)財源内訳

・一般財源 109,800 千円

(前年度当初予算額 80,553 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長 亀井 良幸
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 有害鳥獣対策

## 1 事業の趣旨

イノシシ等有害鳥獣の出没範囲が広がり、農作物等の被害が拡大していることから、地域ぐるみで野生鳥獣が出没しにくい環境の整備を啓発するとともに、侵入防止柵の整備助成、捕獲柵(檻)の設置助成、捕獲活動を行う駆除班の活動支援、捕獲に対する奨励金の交付を行うことで、総合的な対策を図り、野生鳥獣による農作物等の被害の軽減を目指します。

## 2 事業内容

### (1)農作物鳥獣害防止対策事業費補助金【拡充】

侵入防止柵の設置に対する助成

### (2)有害獣捕獲柵補助金【拡充】

捕獲柵(檻)購入に対する助成

### (3)有害獣捕獲補助金【拡充】

イノシシ、シカ等の捕獲に対する助成

### (4)狩猟による捕獲促進事業費補助金【拡充】

狩猟期のイノシシ、シカ等の捕獲に対する助成

### (5)有害鳥獣捕獲活動奨励補助金【拡充】

駆除班の活動に対する助成

### (6)捕獲活動推進対策補助金

狩猟免許取得に対する助成

### (7)鳥獣被害対策実施隊【新規】

鳥獣被害対策実施隊の編成

### (8)その他の事業

鳥獣害対策講演会の開催ほか

## 3 要求額

(1)歳出額 90,487 千円

### (2)財源内訳

・県支出金 39,200 千円

・一般財源 51,287 千円

(前年度当初予算額 35,450 千円)

担当課名	経済局農林水産課
担当者名	課長 丸川 洋一
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1345

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 担い手の確保・育成

## 1 事業の趣旨

若手農業者を登録・紹介するとともに、県外の就農希望者に対する営農開始時の支援の幅を広げること等により、担い手の確保・育成を図ります。

## 2 事業内容

### ○担い手の確保

- ・ 就農相談会等で若手農業者を新規就農希望者に紹介【新規】
- ・ 若手農業者による体験研修の実施、マッチング【新規】
- ・ 技術取得のための実務研修の開催
- ・ UIJターン者で園芸農業者に対する初期施設整備支援【新規】
- ・ 就農直後の所得確保のための給付
- ・ 新規就農者に対する奨励金の給付

### ○経営の強化

- ・ 農地中間管理機構を通じた農地集積に対する支援
- ・ 担い手への農地集積に対する支援【新規】
- ・ 生産性向上のための施設整備・機械導入等に対する助成

## 3 要求額

(1)歳出額 136,795 千円

### (2)財源内訳

- ・ 県支出金 93,100 千円
- ・ その他 250 千円
- ・ 一般財源 43,445 千円

(前年度当初予算額 81,655 千円)

担当課名	経済局農林水産課
担当者名	課長 丸川 洋一
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地産地消の推進

## 1 事業の趣旨

地場産農産物の周知や販路の拡大を行い、消費拡大による農業者の所得向上や経営の安定化を推進し、「食」による地域の活性化を図ります。

## 2 事業内容

- ・地産地消バスツアー
- ・地場産農産物の直売所マップによる地産地消PR
- ・米粉料理教室、米粉&乳製品スタンプラリー等
- ・地域地産地消推進モデル事業
- ・おかやまマルシェ(仮称)【新規】

農業まつり(農村部の魅力のPR、農業者と飲食店等とのマッチング等)を開催

## 3 要求額

(1)歳出額 16,194 千円

(2)財源内訳

・一般財源 16,194 千円

(前年度当初予算額 8,660 千円)

担当課名	経済局農林水産課
担当者名	課長 丸川 洋一
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 多面的機能支払交付金事業

## 1 事業の趣旨

農業地域の過疎化・高齢化により、農業地域の住民が行う水路の泥上げ・草刈り等の地域共同活動の継続が困難となっている。そのため、これらの活動を支援することにより、地域の用水路等の保全管理を促進するとともに、農業・農村が持つ多面的機能の発揮と集落機能の再生・強化を図ります。

## 2 事業内容

地域住民が共同で行う、水路の泥上げや農道の路面維持等の地域資源の基礎的な保全活動、花の植栽等による景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る活動、多面的機能の発揮に資する地域提案型の活動等を支援する。

## 3 要求額

(1)歳出額 172,009 千円

(2)財源内訳

・県支出金 131,507 千円

・一般財源 40,502 千円

(前年度当初予算額 161,308 千円)

担当課名	経済局農林水産課
担当者名	課長 丸川 洋一
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 移住定住促進事業

## 1 事業の趣旨

移住・定住先として全国的な認知度が高まっているこの機を捉え、移住・定住希望者に対し、ワンストップで相談・支援が行える体制の充実、具体的に相談が出来る場の提供、メディアを活用した本市への移住・定住に関する情報の発信など、総合的な支援を展開することで、人口減少対策の一環として、本市への移住・定住の促進を図り、地域の活性化につなげていきます。

## 2 事業内容

- ・移住相談会の開催 5,731千円  
(新)連携中枢都市圏域基礎自治体及び岡山市移住定住支援協議会との連携  
(拡)岡山市主催による移住相談会及びセミナー等の開催回数の増
- ・移住支援情報発信の強化 15,567千円
- ・移住下見ツアーの実施 1,875千円
- ・東京移住相談窓口の設置 3,797千円  
(新)東京の「サテライト移住相談窓口」でのアドバイザーによる移住相談及び情報発信
- ・お試し住宅の提供 15,216千円
- ・就職・転職支援 7,800千円  
(拡)東京圏からの市内企業面接に係る交通費の助成
- ・日常的な移住相談対応 1,146千円

## 3 要求額

(1)歳出額 51,132 千円

(2)財源内訳

・一般財源 51,132 千円

(前年度当初予算額 17,800 千円)

担当課名	市民協働局市民協働企画総務課
担当者名	課長 小野 典生
電 話	内線 3270
	直通 086-803-1031



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 日中韓3か国地方政府交流会議開催事業 新規

## 1 事業の趣旨

日中韓3か国地方政府交流会議は、歴史的にも地理的にも密接な関係にある日本、中国、韓国の3か国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的に、平成11年度から3か国で輪番制にて毎年開催しているものです。

この会議の平成28年度における岡山市での開催決定を受け、市をあげておもてなしの心で会議参加者を迎え、本市の観光資源やコンベンションシティとしての魅力を国内外に情報発信します。

## 2 事業内容

- (1)主 催 一般財団法人 自治体国際化協会、岡山市
- (2)開催時期 平成28年10月頃
- (3)参加見込 300～500名(日本・中国・韓国の地方政府関係者)
- (4)会議日程 1日目 開会式、歓迎レセプション  
2日目 本会議(基調講演、パネルディスカッション等)  
3～4日目 エクスカーション(視察研修)

## 3 要求額

- (1)歳出額 20,857 千円
- (2)財源内訳
  - ・一般財源 20,857 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	市民協働局国際課	経済局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 荻野 拓志	課長 芳原 保
電 話	内線 3250	内線 4530
	直通 086-803-1112	直通 086-803-1332

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 おかやま観光情報発信事業(「桃太郎のまち岡山」)

## 1 事業の趣旨

岡山市は、国内外において観光地としての認知度が低い状況が続いていますが、岡山の都市イメージとしては「桃太郎」が定着しています。

しかしながら、実際に「桃太郎」を体感できる観光素材が不足しており、岡山市を訪れる観光客の満足度や話題性という面でインパクトを欠いていることから、今後、「桃太郎」を健康で元気な象徴として創造・発信し、「桃太郎に出会えるまち」をPRしていきます。

## 2 事業内容

- 桃太郎のまち岡山創造・発信
  - ・桃太郎さんの朝ごはん
  - ・桃太郎グッズの開発【新規】
  - ・桃太郎衣装の着付け体験【新規】
- 情報発信・観光宣伝
  - ・主要都市への誘客促進、白桃パフェDaysの実施等
- JRデスティネーション・キャンペーン
  - ・平成28年4月から6月にかけて行われるキャンペーンへの参画
- 受入環境の整備・充実
  - ・パンフレット、ノベルティグッズの作成等
- 交流連携の推進
  - ・観光交流都市等との交流事業等

## 3 要求額

(1)歳出額 25,040 千円

(2)財源内訳

・一般財源 25,040 千円

(前年度当初予算額 27,000 千円)

担当課名	経済局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 おかやま観光事業

## 1 事業の趣旨

広域観光のベース宿泊地としての利便性を生かし、宿泊・滞在の魅力をさらに高め、「岡山から始まる瀬戸内の旅」をPRすることにより、宿泊客の増加や滞在時間の延長を図ります。

## 2 事業内容

- 岡山後樂園、岡山城等連携
- 岡山城におけるイベント開催
- おかやま桃太郎まつり等の開催
- 岡山城の魅力アップ(天守閣内トイレの改修等)【拡充】
- 岡山城天守閣のこれからの在り方の調査業務委託【新規】
  - ・各界各層(入場者・文化団体・経済団体等)のアンケート調査等と分析
  - ・他城の事例の調査・分析
  - ・ソフト・ハード両面からの見直し提案 など
- 岡山城再建50周年に向けた記念イベント実施の準備【新規】
- 岡山市プロモーションビデオの作成【新規】
- 観光情報サイトのスマホ対応化【新規】

## 3 要求額

(1)歳出額 193,400 千円

(2)財源内訳

・一般財源 193,400 千円

(前年度当初予算額 131,800 千円)

担当課名	経済局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 外国人誘客・国際観光振興事業

## 1 事業の趣旨

国内人口が減少する一方、訪日外国人旅行者数・消費額ともに増加傾向にあることから、「観光を日本経済を牽引する基幹産業に飛躍させる」とする国の「観光立国実現に向けたアクションプログラム2015」に呼応し地方から積極的に取り組みます。

## 2 事業内容

- 案内看板等設置・改修(多言語化)
- 外国人観光客誘客促進(商店街の免税店等の情報発信・マップの作成等)
- 多言語パンフレットの作成
- 雑誌社等招請・広告掲載、国内での商談会への参加
- 海外プロモーション(台湾、タイ、マレーシア、フランス)【拡充】

東アジアを主要なターゲットとする団体旅行に加え、関西国際空港等を経由し、JRを利用して移動する個人観光客を新たなターゲットとするプロモーション  
瀬戸内4市連携によるマレーシアでの観光セミナー開催

- 個人観光客誘致促進【新規】  
増加傾向にある欧米を中心とした個人観光客をターゲットとする宿泊助成制度の創設
- 受入体制整備【拡充】  
欧米を中心とした個人観光客に対応できる外国語スタッフの観光案内所への配置

## 3 要求額

- (1)歳出額 59,038 千円
- (2)財源内訳
- ・一般財源 59,038 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	経済局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 コンベンション誘致対策事業

## 1 事業の趣旨

岡山市は、西日本の交通結節点にあり、駅に直結したコンベンション施設を有するとともに、学会のキーパーソンが所属する大学が集積しています。

こうした優位性を活かしながら、岡山市、おかやま観光コンベンション協会、岡山コンベンションセンターを中心に、産学官が連携し、MICEの地元開催を促進するとともに、国際会議の誘致に取り組み、地域経済の活性化、人と知と技術の交流を通じた都市ブランドの向上、国際化を推進します。

## 2 事業内容

- 情報収集・情報発信事業(JNTO等からの情報収集、Webサイトによる情報発信等)
- 誘致事業(誘致セールス、セミナー等の開催、視察受入等)
- 開催支援事業(開催補助金の交付、歓迎看板の設置等の支援サービス実施)
- JNTO賛助団体制度の活用(制度を活用した情報収集、招請事業への参加等)
- 国際会議誘致体制の強化【新規】
- 主催者ニーズの把握・分析による支援メニューの拡充【拡充】

## 3 要求額

(1)歳出額	35,982 千円
(2)財源内訳	
・その他	26,182 千円
・一般財源	9,800 千円
(前年度当初予算額)	29,182 千円)

担当課名	経済局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 中山間・周辺地域活性化及び区別計画策定ヒアリング  
実施事業

## 1 事業の趣旨

区別計画策定に向けて、中山間・周辺地域等における地域特性をいかしたまちづくりの考え方や方向性を検討するため、市内全域においてヒアリングを実施するものです。

## 2 事業内容

全市域的にエリア分けによるヒアリングを実施します。

※H27年度 実態把握調査実施済み地域(24小学校区)について  
H28年度は、区別計画策定にかかるヒアリングに加えて、調査結果を地域へフィードバックして、情報共有をはかったうえで、地域の方々と地域特性や課題、必要な支援等について対話やヒアリングも行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 12,800 千円

(2)財源内訳

・一般財源 12,800 千円

(前年度当初予算額 3,600 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	地域政策担当課長 赤坂 隆
電 話	内線 3584
	直通 086-803-1042

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 中山間地域住民活動応援事業

## 1 事業の趣旨

中山間地域(御津・建部)は、急速な高齢化や後継者不足に加え、人口流出による集落機能の低下及び産業の停滞等が進んでおり、住民と行政が協働して地域の諸問題を調査・研究し、安全で安心して居住できる生き生きとした中山間地域のふるさとづくりを目指します。

## 2 事業内容

- 地域住民と行政が協働し地域課題の解決や地域づくりのための諸事業を推進し、「生き生きとした御津・建部地域のふるさとづくり」を推進する。  
平成27年度は「地域おこし協力隊員」3名を採用予定であり、地域住民と協力して地域活性化活動を行う。
- 平成28年度は「地域おこし協力隊員」の活動を本格化させる予定。
- 地域住民が主体的に課題解決にあたる「ふるさと活性化協議会」の協議を継続し、地域活性化活動をより一層推進するため「地域おこし協力隊」を増員(御津・建部各1名計2名)して事業化や活動の促進を図る。

## 3 要求額

(1)歳出額	21,166 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	21,166 千円
(前年度当初予算額)	11,400 千円)

担当課名	北区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 野崎 裕之
電 話	内線 4186
	直通 086-803-1657

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山操車場跡地整備推進事業  
(健康・医療・福祉系施設導入区域)

## 1 事業の趣旨

岡山操車場整備基本計画に定める健康・医療・福祉系施設導入区域について、健康・医療等の機能の集積を進め、あわせて「賑い」「情報」「癒し」機能の導入を図ります。

平成27年度は、当該区域の西側約1.8haに市民病院、地域ケア総合推進センターを開設しました。

平成28年度は、当該区域の東側約3.0ha用地について定期借地権を活用した民間企業への貸し付けによる施設整備を前提に、事業プロポーザルの実施及び事業者の決定を行います。

## 2 事業内容

事業プロポーザルの実施及び事業者決定

- ・事業プロポーザル実施に係る支援業務委託、不動産鑑定等

## 3 要求額

(1)歳出額 27,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 27,000 千円

(前年度当初予算額 3,519,000 千円)

担当課名	保健福祉局医療政策推進課
担当者名	課長 福井 貴弘
電 話	内線 3950
	直通 086-803-1636



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 立地適正化計画の策定

## 1 事業の趣旨

これまでは、人口増加と自動車を前提とした都市づくりが進められ、自動車に過度に依存した低密度で分散化した市街地が拡大してきましたが、今後は、人口減少・少子高齢化に適切に対応した持続可能な都市づくりが必要となっています。

そこで、公共交通政策等と連携した立地適正化計画制度を活用し、都心、地域の拠点、公共交通沿線に居住や都市機能が集約され、都心拠点と周辺地域の各拠点が相互に公共交通を中心とする交通体系で結ばれた「拠点ネットワーク型コンパクトシティ」を構築することで、人口減少下においても、快適で活力のある歩いて暮らせるまちづくりを推進します。

## 2 事業内容

### (1)実施内容

立地適正化計画では、公共交通施策等と連携し、住宅及び都市機能増進施設(医療・福祉・教育・商業など)の立地の適正化を図るため、居住や都市機能を誘導する区域を定め、各区域で誘導する施設や施策、並びに関連事業をとりまとめます。

本計画に位置付けた各種施策、事業を実施することにより、時間をかけながら緩やかな都市の集約化を誘導します。

(2)計画策定期間 平成27年度から平成29年度(予定)

## 3 要求額

(1)歳出額 13,332 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 6,500 千円

・一般財源 6,832 千円

(前年度当初予算額 15,000 千円)

担当課名	都市整備局都市計画課
担当者名	課長 小野 正勝
電 話	内線 3630
	直通 086-803-1371

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 旭川かわまちづくり事業  
(一集う・憩う・楽しむ水辺―「旭川再生!」)

## 1 事業の趣旨

まちなかの回遊性向上と魅力づくりに向けた取り組みのひとつとして、旭川さくらみちの桜並木の保全のほか、旭川を中心としたにぎわいの拠点づくりを、国土交通省岡山河川事務所等と連携して取り組みます。

## 2 事業内容

### (1)全体概要

#### ①水辺の回遊性の向上

- ・ 後楽園東側の堤防上について、回遊性向上を目的とした歩行空間の整備
- ・ 現在地や目的地、周遊ルートを分かりやすく表現した案内看板等を整備など

#### ②水辺の魅力を活かしたにぎわいの拠点創出

- ・ 水辺の見えるオープンカフェの常設
- ・ 利用しやすい空間づくりを目的とした石山公園の再整備など

### (2)平成28年度事業

- ・ 旭川さくらみちの歩行空間整備工事
- ・ 石山公園再整備の実施設計 ほか

## 3 要求額

(1)歳出額 69,712 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 8,223 千円  
・地方債 7,400 千円  
・一般財源 54,089 千円

(前年度当初予算額 22,200 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長 亀井 良幸
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 まちなか公園マネジメント

## 1 事業の趣旨

公園の特性を活かした利活用を進めるため、パークマネジメントの手法を取り入れた市内主要公園の運営のあり方について検討を進めます。

## 2 事業内容

主要公園のひとつである石山公園周辺における旭川を中心としたにぎわいの拠点づくりのため、民間活力の導入も視野に入れたオープンカフェの常設化に向けた社会実験を継続し、にぎわい創出に向けて取り組むとともに、設置方法や運営のあり方など具体策について検討を進めていきます。

## 3 要求額

(1)歳出額 13,961 千円

(2)財源内訳

・一般財源 13,961 千円

(前年度当初予算額 16,500 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長 亀井 良幸
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山西部総合公園(仮称)整備事業

## 1 事業の趣旨

岡山操車場跡地の「総合公園区域」について、市民の皆さんが憩い、楽しむ、緑あふれる総合公園として、また、災害時には防災拠点となる防災公園として整備を行います。

## 2 事業内容

平成24年度	「岡山操車場跡地整備基本計画」策定
平成25年度	施設配置、規模等の検討を行うための基本設計
平成26年度	岡山西部総合公園(仮称)の実施設計及び公園管理棟の基本設計及び用地買収
平成27年度	岡山西部総合公園(仮称)の本工事及び公園管理棟の実施設計及び用地買収
平成28年度	岡山西部総合公園(仮称)の本工事等及び用地買収

## 3 要求額

(1)歳出額 1,228,668 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金	500,000 千円
・地方債	515,800 千円
・一般財源	212,868 千円

(前年度当初予算額 3,855,000 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	担当課長 佐藤 二郎
電 話	内線 3680
	直通 086-803-1392

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 健康みつ21公園(仮称)整備事業

## 1 事業の趣旨

新市建設基本計画に基づき、旧御津町の旭川左岸に豊かな自然を活かした健康づくりのできる公園として整備を行います。

場所： 北区御津伊田

公園面積：3.0ha

施設概要：多目的広場、健康広場、墓地等

## 2 事業内容

【平成25年度】 進入路新設工事

【平成26年度】 敷地造成工事

【平成27年度】 公園整備工事(造成工事、給水施設、電気工事、トイレ新設)  
墓地整備工事(雨水排水施設、給水施設、縁石、植栽)

【平成28年度】 公園施設整備工事(真砂土舗装、体育施設、安全施設ほか)  
墓地整備工事(舗装、転落防止柵ほか)

## 3 要求額

(1)歳出額 201,500 千円

(2)財源内訳

・地方債 177,100 千円

・一般財源 24,400 千円

(前年度当初予算額 181,100 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課	市民生活局生活安全課
担当者名	担当課長 佐藤 二郎	課長 大畑 誠
電 話	内線 3680	内線 3230
	直通 086-803-1392	直通 086-803-1277

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 新たな総合交通計画策定事業(都市交通戦略推進事業) **新規**

## 1 事業の趣旨

現在の岡山市は、人口増加と自動車利用を前提とした低密度で分散した都市構造となっているため、中心市街地の活力が低下しており、また、郊外部では路線バスの減便や廃止といった公共交通の衰退により日常生活に必要な移動手段が失われつつあります。これからは、人口減少・少子高齢化の中で、都心と各地域とが多様性を発揮しながら連携した活力のあるまちづくりが求められています。

こうした中、現在検討を行っている新たな総合計画で示される岡山市の将来像の実現に向けて、都心と各地域の拠点、それらの周辺地域が公共交通を中心とした交通ネットワークで相互に結ばれた交通体系の構築を目指して、その具体の将来像を定め、実現化方策と実行戦略を示した、交通のランドデザインとも言える新たな総合交通計画を策定します。

## 2 事業内容

新たな総合交通計画を策定します。

- ・本市が目指す交通ネットワーク及びサービス水準に関する検討
- ・生活交通を含む交通ネットワーク改善策及び利用促進策の効果・影響分析
- ・学識経験者、交通事業者等との計画素案に関する協議

## 3 要求額 ※都市交通戦略推進事業に含まれる

(1) 歳出額 20,000 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 11,000 千円
- ・一般財源 9,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 林 恭生
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 都市交通戦略推進事業

## 1 事業の趣旨

今後、生活交通として自動車を運転できない高齢者の増加、自動車交通に起因するCO2や騒音の削減、中心市街地の回遊性の向上など多くの課題を解決するためには、過度に自動車に依存する交通体系から公共交通中心の交通体系へ転換する必要があります。

このことから、短期(概ね5年)・中期(概ね10年)に戦略的に交通施策に取り組み、公共交通と自転車を中心とした人と環境にやさしい総合交通体系を構築することを目指します。

## 2 事業内容

都市交通戦略の事業プログラム(施策)を実施する。

### ○ 戦略目標1 都心と地域拠点との連携軸の強化に向けた施策

- ・人と環境にやさしいLRTの推進(吉備線LRT化の検討の推進)
- ・パークアンドライドの推進(パークアンドバスライド、サイクルアンドバスライド)
- ・モビリティマネジメント 等

### ○ 戦略目標2 都心内の回遊性の向上に向けた施策

- ・路面電車の岡山駅前広場乗り入れ検討
- ・路線バス方面別化の完全実施
- ・次世代モビリティの活用可能性を検討するための実証実験 等

## 3 要求額

(1)歳出額 220,414 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 68,376 千円
- ・地方債 2,200 千円
- ・一般財源 149,838 千円

(前年度当初予算額 126,300 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 林 恭生
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ調査・検討  
(都市交通戦略推進事業)

## 1 事業の趣旨

岡山市の喫緊の課題である回遊性の向上、中心市街地の活性化を目的に、平成26年度より「中心市街地活性化政策パッケージ」の一環として路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ調査・検討を行います。また、路面電車の乗り入れを契機に、駅前広場全体の整備計画についても検討を行います。

現在は、「経済性(事業効果)」、「利便性(乗換)」に優れる平面乗り入れ案を市の計画案として提示したところであり、この案をベースに関係者協議や検討の深度化を図るとともに、駅前広場全体のあり方について、地元や周辺商店街等と連携して検討することとしています。

## 2 事業内容

### (1) 内容

- ・ 路面電車の駅前広場への乗り入れ計画

線形計画、運行計画、駅前交差点の交通処理、地下埋設物・地下構造物への影響検討等

- ・ 岡山駅前広場及び周辺道路の交通量等の調査
- ・ 乗り入れに伴う駅前広場機能の改善整備計画
- ・ 環境影響評価等の法手続き

(2) 期間 平成26年度から平成29年度

(3) 実施主体 岡山市

## 3 要求額 ※都市交通戦略推進事業に含まれる

(1) 歳出額 43,400 千円

### (2) 財源内訳

- ・ 国庫支出金 23,870 千円
- ・ 一般財源 19,530 千円

(前年度当初予算額 17,500 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 林 恭生
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 吉備線LRT化検討(都市交通戦略推進事業)

## 1 事業の趣旨

岡山市都市交通戦略に位置付けられた岡山市と総社市をつなぐ一宮・高松連携軸の公共交通サービスの向上を図るとともに駅周辺のまちづくりを行い、コンパクトシティ化にも寄与することを目的に吉備線LRT化検討を行います。

現在は、基本計画の根幹となる具体的な費用負担や運営スキームの内容について、優先して協議を重ねているところであり、さらに運行事業者の採算性や施設等の所有のあり方、運行事業者を含めた関係者の役割分担などの観点から検討を行っています。

## 2 事業内容

### (1) 内容

- 一宮・高松連携軸の公共交通のサービス向上のための吉備線LRT化基本計画

線形計画、運行計画、乗継拠点の検討、周辺施設との連携、新駅設置、維持管理方法、費用負担、運営スキーム 等

- 吉備線を軸とした公共交通ネットワーク構築計画

### (2) 期間 平成21年度から

### (3) 実施主体 岡山市・総社市・JR西日本

## 3 要求額 ※都市交通戦略推進事業に含まれる

(1) 歳出額 22,000 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 12,100 千円
- ・一般財源 9,900 千円

(前年度当初予算額 20,000 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 林 恭生
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 超小型モビリティ(都市交通戦略推進事業)

## 1 事業の趣旨

公共交通と自動車の効率的な組み合わせを実現するとともに、自動車交通に依存した交通体系から、人と環境にやさしい公共交通中心の交通体系によるコンパクトな市街地への転換を図るため、多様な交通手段を組み合わせ活用できる環境整備を進めるため、次世代交通(超小型モビリティ)の活用の可能性について、実証実験を通じて検証します。

※超小型モビリティ

自動車よりコンパクトで、移動の足となる1人から2人乗り程度の車両

## 2 事業内容

超小型モビリティを各種対象者(女性、高齢者、企業等)に活用してもらい、その特徴や使い勝手を認知して頂き、また利用者目線からの車両の問題点や現状ニーズとの合致点の洗い出し、交通課題解決可能性等を検証する実証実験を実施します。

## 3 要求額 ※都市交通戦略推進事業に含まれる

(1)歳出額 20,000 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 11,000 千円

・一般財源 9,000 千円

(前年度当初予算額 6,500 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課 自転車先進都市推進室	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 今井 洋孫	課長 林 恭生
電 話	内線 3625	内線 3620
	直通 086-803-1375	直通 086-803-1376

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 生活交通確保事業

## 1 事業の趣旨

今後、人口減少と高齢化により岡山市でも生活サービス機能の維持が困難となることが懸念されます。生活サービスの1つである公共交通はすでに衰退傾向となっており、これ以上の減便や廃止が起きないように、現在運行している路線を維持することや、公共交通が身近でない等の日常生活における移動が不便な地域を中心に、新たな交通手段を確保することが求められています。

そこで、広域的なバス路線やコミュニティバスの運行経費赤字分に対し、その一部を助成するとともに、公共交通利用が不便な地域において、デマンド交通等により地域の特性に合った生活交通確保に取り組みます。

## 2 事業内容

- ・ 御津・建部コミュニティバスの運行に対し、その費用の一部を助成
- ・ 足守地区における過疎地有償運送に対し、その費用の一部を助成
- ・ 公共交通利用が不便な地域における新たな生活交通導入を目指して、地域が主体となって持続的に運用する生活交通の導入スキームの検討、導入ガイドラインの作成、並びに生活交通(試験・本格)運行費用の一部を助成
- ・ 地域住民に必要なバス路線のうち、広域的・幹線的なバス路線の運行維持確保を図ることを目的として、運行事業者に対し、その費用の一部を助成

## 3 要求額

(1)歳出額 66,683 千円

(2)財源内訳

・その他 15,812 千円

・一般財源 50,871 千円

(前年度当初予算額 63,000 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 林 恭生
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 自転車先進都市おかやま事業

## 1 事業の趣旨

誰もが自転車を“安全”で“便利”に“楽しく”使うことが出来る都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、平成24年8月に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、各種施策を推進していきます。

## 2 事業内容

### (1)道路状況に応じた安全で快適な自転車走行環境の実現

中心部の道路において、路線の状況に応じた整備手法で自転車走行空間の整備や路面の段差解消を行い安全で快適な走行空間ネットワークの形成を目指す。また、郊外から中心部へアクセスする路線の選定や調査を行い今後の整備の基礎資料とします。

### (2)ニーズに応じた効果的な駐輪対策

駐輪場の容量が不足している岡山駅西口(駅元町)や表町地区について、駐輪場整備を行う他、中心市街地における駐輪場整備促進策として、民間事業者に対し駐輪場整備費の一部を補助する制度を創設し、民間駐輪場整備の後押しを行います。

### (3)自転車利用のマナーアップ

自転車関連交通事故の減少を目的として、平成27年度に実施している交通事故多発地点における事故調査・分析結果を基に、対応策を実施します。また、啓発イベントを秋の交通安全週間に合わせて開催する他、放置自転車防止啓発指導を、夜間に放置自転車が多い箇所においても実施します。

### (4)サイクリングロード整備事業

自転車を楽しんで利用してもらう環境づくりへの取組みの一つとして、既存のサイクリングロード(吉備路自転車道等)について、路線の現状を調査した上、案内看板等の充実・更新等を行うことにより、既存資源の有効活用を図ります。

## 3 要求額

(1)歳出額 643,148 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 218,083 千円

・地方債 153,100 千円

・一般財源 271,965 千円

(前年度当初予算額 670,000 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課 自転車先進都市推進室	都市整備局道路港湾管理課
担当者名	課長 今井 洋孫	課長 頼経 秀智
電 話	内線 3625	内線 3660
	直通 086-803-1375	直通 086-803-1415

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 都市の成長につながる道づくり

## 1 事業の趣旨

中心市街地への流出入交通や通過交通を適切に誘導・分散導入することによる交通混雑の解消に資する地域高規格道路等の、岡山環状道路を整備します。

## 2 事業内容

- ・(主)岡山赤穂線(中井～宍甘) 延長3.5km、4種1級、幅員26.0m
- ・(市)藤田浦安南町線 延長1.6km、4種1級、幅員36.0m
- ・(市)江並升田線 延長1.4km、4種1級、幅員26.0～42.0m
- ・(都)下中野平井線(旭川工区) 延長1.1km、4種1級、幅員35.0m

## 3 要求額

- (1)歳出額 2,653,900 千円
- (2)財源内訳
- ・国庫支出金 1,367,740 千円
  - ・地方債 1,098,300 千円
  - ・一般財源 187,860 千円

(前年度当初予算額 2,004,000 千円)

担当課名	都市整備局道路計画課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3640
	直通 086-803-1696

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 市街地再開発事業<中山下一丁目1番地区>

## 1 事業の趣旨

当地区は、商業核の駅前地区、表町地区を繋ぐ都心軸桃太郎大通りのほぼ中間点に位置するが、現況は老朽化した共同ビルや平面駐車場等の低未利用地の状況で、地区の求心性の向上を図るため新たに都市機能の更新が必要です。

多様な施設の集積と社交機能の充足を図り都市機能の集積と住居性を備えた施設整備を図ります。

## 2 事業内容

施行者： 中山下一丁目1番地区市街地再開発組合  
所在地： 岡山市北区中山下一丁目1番地区  
面積： 約0.7ha  
総事業費： 約75億円(うち国費予定額:12.2億円、市費9.3億円)  
整備内容： 延べ面積 約23,700㎡  
主な用途： 商業、公益的施設(クリニック、高齢者介護施設)、住宅、駐車場等  
住宅戸数： 153戸  
平成28年度事業:施設建築物工事

## 3 要求額

(1)歳出額 248,938 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 124,469 千円  
・地方債 112,000 千円  
・一般財源 12,469 千円

(前年度当初予算額 169,400 千円)

担当課名	都市整備局市街地整備課
担当者名	都市再課発担当課長 内藤 克彦
電 話	内線 3651
	直通 086-803-1378

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 市街地再開発事業<錦町7番地区>

新規

## 1 事業の趣旨

当地区は、青空駐車場や小規模低層ビルが点在するなど土地利用が細分化されている状況です。

都心に相応しい市街地形成を図るため、街なか居住の推進やビジネス・観光客が利用するハイグレードホテル、にぎわいを醸成する商業施設を整備することで、地区内の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ります。

## 2 事業内容

施行者： 錦町7番地区市街地再開発組合  
所在地： 岡山市北区錦町7番地区  
面積： 約0.76ha  
総事業費： 約200億円(うち国費予定額27.6億円、市費24.1億円)  
整備内容： 延べ面積 約49,200㎡(容積対象約38,800㎡)  
主な用途： 商業、業務、ホテル、住宅、駐車場等  
住宅戸数： 203戸  
平成28年度事業:事業計画策定

## 3 要求額

(1)歳出額 144,200 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 72,100 千円

・一般財源 72,100 千円

(前年度当初予算額 一 千円)

担当課名	都市整備局市街地整備課
担当者名	都市再課発担当課長 内藤 克彦
電 話	内線 3651
	直通 086-803-1378

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 市街地再開発等促進事業

## 1 事業の趣旨

都心のにぎわい機能の充実や健康で安心して暮らせる都心居住の再構築を促進し、中心市街地の活性化を図ることを目的に、市街地再開発事業等を検討する初動期の地区権利者が組織する研究会などの自主的なまちづくりを推進し、事業化へ向けて十分な準備が図れるよう、支援を進めます。

## 2 事業内容

### (1)実施内容

「岡山市市街地再開発事業等促進助成金交付要綱」に基づき、地区地権者が組織する研究会などに対して、事業の研究費用や概略事業計画の作成費用などの助成金を交付します。

### (2)助成対象団体

- ・表町三丁目15番地区まちづくり研究会(三丁目劇場等) 平成25年7月設立
- ・駅前町一丁目2番・3番地区まちづくり研究会(三好野等) 平成25年10月設立
- ・駅前町一丁目4番地区まちづくり研究会(メルパ等) 平成27年9月設立

## 3 要求額

(1)歳出額 4,170 千円

### (2)財源内訳

・一般財源 4,170 千円

(前年度当初予算額 12,800 千円)

担当課名	都市整備局市街地整備課
担当者名	都市再課発担当課長 内藤 克彦
電 話	内線 3651
	直通 086-803-1378



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 高齢者向け地域優良賃貸住宅(サービス付き) 事業

## 1 事業の趣旨

平成23年度創設以降、高齢者の居住の安定確保を中心市街地で実現させるとともに、まちなかにぎわい創出を目的としたモデル事業として取り組んできたところですが、今後「コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり」の施策にも適合した、生活利便性の高い場所(地域拠点等)への供給誘導を行っていくものとして、高齢者支援施設を併設した高齢者向け地域優良賃貸住宅の建設を支援します。

## 2 事業内容

### (1)事業内容【エリアの拡充】

中心市街地・地域拠点エリア・生活拠点エリア内等の生活利便性の高い場所に、高齢者支援施設等を併設し、高齢者への緊急通報・安否確認・生活相談サービスの提供が可能である30戸以上の高齢者向け地域優良賃貸住宅を整備する場合、住宅整備に対して建設費の1/5、併設施設整備に対して建設費の1/3(いずれも区域によって上限額が異なる)の範囲で補助をする。(公募により供給事業者を1者決定)

### (2)期間

平成28年度～平成30年度(事業規模による)

## 3 要求額

(1)歳出額 2,200 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 1,100 千円  
・一般財源 1,100 千円

(前年度当初予算額 81,100 千円)

担当課名	都市整備局住宅課
担当者名	課長 矢吹 幸司
電 話	内線 4660
	直通 086-803-1466

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 みずほ住座再生事業  
(市営住宅・社会福祉施設導入区域)

## 1 事業の趣旨

岡山操車場跡地基本計画において、「生活支援ゾーン(市営住宅・社会福祉施設導入区域)」に「高齢者」「子育て」「居住」等の機能を中心に生活支援サービス施設導入の検討を図っていくこととしており、同地において近接する老朽化の著しい北長瀬みずほ住座の建替えを推進するとともに、子育て支援・高齢者支援の福祉施設等の併設施設の整備を図ります。

## 2 事業内容

### (1)事業内容

岡山操車場跡地の「生活支援ゾーン(市営住宅・社会福祉施設導入区域)」に北長瀬みずほ住座の建替えを行うとともに、子育て支援・高齢者支援の福祉施設等の併設を行う。

平成28年度 事業者募集・用地取得(土地開発公社からの買い戻し)

### (2)期間

平成26年度～平成32年度

## 3 要求額

(1)歳出額 1,193,629 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 469,003 千円  
・地方債 723,600 千円  
・一般財源 1,026 千円

(前年度当初予算額 911,000 千円)

担当課名	都市整備局住宅課
担当者名	課長 矢吹 幸司
電 話	内線 4660
	直通 086-803-1466

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016

新規

## 1 事業の趣旨

岡山城及び後樂園を中心とした歴史文化ゾーン(旧城下町エリア)において民間との協働による新たな魅力づくり、岡山市の新たな都市ブランドの構築及び若年層のまちづくりへの参加の促進などを目的に、世界からも注目を集める現代アート展を開催します。

## 2 事業内容

### (1)実施内容

#### ○現代アート展の開催

テーマ「Development/開発」に沿って制作・選定された約30作家の80作品程度(石川コレクション含む)を展示

#### ○関連事業の開催

JRデスティネーションキャンペーンに合わせたプレイベントの開催、展示ガイド、アーティストトークなど

(2)開催日時 平成28年10月9日(日)～11月27日(日)

(3)開催場所 岡山城、天神山文化プラザ、後楽館天神校舎跡地等

(4)主 催 岡山芸術交流実行委員会

## 3 要求額

(1)歳出額 180,000 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 70,000 千円

・その他 10,000 千円

・一般財源 100,000 千円

(前年度当初予算額 25,000 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	地域政策担当課長 赤坂 隆
電 話	内線 3584
	直通 086-803-1042

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 文化芸術施設を拠点とした文化振興事業

## 1 事業の趣旨

岡山シンフォニーホールは、音楽を主体とした優れた文化芸術鑑賞の機会と創造の場の提供を目的に平成3年に開館。平成4年に設立した岡山フィルハーモニック管弦楽団は、岡山シンフォニーホールを拠点に、プロの演奏家で編成された楽団として創造活動を行い、定期演奏会や巡回公演等により鑑賞機会を提供し、岡山県内の音楽文化の振興に寄与してきました。

今後、岡山市が魅力をさらに高め、人を引き寄せる都市となるため、岡山シンフォニーホール開館25周年記念事業として音楽関係団体や市民が集う事業等を実施し、同ホールの文化芸術活動の拠点としての機能を発揮するなど、岡山フィルハーモニック管弦楽団による地域文化の創造を促進させます。

## 2 事業内容

(1) 岡山シンフォニーホール文化事業補助金 10,000 千円

(公財)岡山シンフォニーホールが行う音楽分野における芸術活動に対してその費用の一部を補助するもの。

岡山で活動している音楽関係団体や市民が集い、演奏・鑑賞の拠点として岡山から全国へ音楽文化を広く発信するため、開館25周年記念事業を開催。

(2) 岡山フィルハーモニック管弦楽団運営費補助金 16,000 千円

岡山フィルハーモニック管弦楽団が行う芸術活動に対してその費用の一部を負担するもの。

特に、岡山フィルハーモニック管弦楽団の芸術性を向上させるため、引き続き首席指揮者シェレンベルガー氏との契約を行うなど、市民により優れた音楽鑑賞の機会を提供する。

## 3 要求額

(1) 歳出額 26,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 26,000 千円

(前年度当初予算額 15,000 千円)

担当課名	市民生活局文化振興課
担当者名	課長 岸 学
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山の歴史文化に親しむ事業

## 1 事業の趣旨

埋もれた歴史資源を再認識し、由来等を現地で紹介することで、市民や観光客が地域の歴史や文化に触れる機会を増やし、街歩きを楽しめる環境を整備するとともに、郷土への愛着や誇りを醸成します。

## 2 事業内容

### (1)おかやま歴史の町しるべの設置

平成26年度に実施した歴史資産の掘り起し、案内看板のデザイン等を基に、設置場所の調整及び案内看板の製作・設置を行います。

平成26年度	紹介する資源の選定(候補地62か所)、紹介看板のデザイン指針の策定等
平成27年度	権利者等の調整、看板設置(30か所程度)
平成28年度	看板設置(30か所)

### (2)まちなか回遊アプリの運営

スマートフォン用のアプリにより、様々なまちの魅力を紹介・発信し中心市街地の回遊性の向上を目指します。

## 3 要求額

(1)歳出額	21,465 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	21,465 千円
(前年度当初予算額)	42,400 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	地域政策担当課長 赤坂 隆
電 話	内線 3584
	直通 086-803-1042

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 おこやま観光情報発信事業(歴史・文化資源)

## 1 事業の趣旨

岡山市は、古代吉備の国の繁栄から宇喜多家、池田家の治世を経て、城下町や農業都市として現在の姿形を築いてきました。その足跡は、吉備路の古墳群や岡山城・後楽園といった歴史・文化資源として残されていますが、こうした歴史・文化について、市民のアイデンティティを育むための取組が十分でなく、また、広域連携の取組も限定的であることなどから、テーマ性やストーリー性に広がりや欠き、ダイナミックな情報発信となっていません。

このため、連携中枢都市圏全体として観光資源の再発見や磨き上げを行い、情報発信力を高めることにより、圏域全体のアイデンティティの形成と交流人口の増加につなげていきます。

## 2 事業内容

- 雑誌等による情報発信事業(歴史・文化資源の紹介記事掲載)
- 「古代吉備の国の繁栄」発掘・発信事業
- 「備前池田家と郡代津田永忠の国づくり」発掘・発信事業
  - ・歴史・文化資源を活かした活動に取り組んでいる地域団体やNPO法人の調査
  - ・平成27年度に調査した資源のストーリー化

## 3 要求額

- (1) 歳出額 22,600 千円
- (2) 財源内訳
  - ・一般財源 22,600 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	経済局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 新しい文化芸術施設整備事業

## 1 事業の趣旨

岡山市民会館及び岡山市民文化ホールは、ともに本市の文化芸術の拠点施設として広く市民に親しまれており、市民にとって不可欠な施設ですが、建物・設備の老朽化、バリアフリー化の未対応、耐震化の未実施などの課題を抱えています。

そのため、将来にわたって市民のニーズに応えることのできる文化芸術施設を新たに整備し、本市の文化力の向上を図るとともに、中心市街地の活性化、回遊性の向上など、まちの魅力アップや新たなにぎわい創出につなげていきます。

## 2 事業内容

現在、新しい文化芸術施設の整備に当たり、基本計画の策定を進めています。

基本計画では、本市が策定した基本構想を基にして、施設の機能・規模・配置計画、実施する文化事業の内容、管理運営方式や組織などについて具体的な課題や条件を整理し、対応策などをとりまとめ、設計の指針とします。

これを施設整備する再開発の事業計画(案)に盛り込んでいくよう協議を進める必要があります。平成28年度はその協議内容などについて専門家の助言を得るための委託を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 3,500 千円

(2)財源内訳

・一般財源 3,500 千円

(前年度当初予算額 20,000 千円)

担当課名	市民生活局文化振興課
担当者名	課長 岸 学
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 スポーツ施設整備方針に基づく施設整備 新規

## 1 事業の趣旨

スポーツ施設の適正な管理を目的として、平成27年度に策定した「スポーツ施設の整備方針」に基づき、計画的な修繕や施設整備を行っています。

スポーツ施設に対して、管理を行っている指定管理者や施設利用者から寄せられている要望・意見について、整備方針に基づき、岡山市のスポーツ推進に必要な整備や危険度の高い老朽化施設の整備などを行います。

## 2 事業内容

・二日市公園テニスコート修繕	21,000 千円
・奥市野球場修繕	81,000 千円
・奥市補助球場修繕	53,000 千円
・神崎山公園陸上競技場芝修繕	49,000 千円
・御津スポーツパークあおぞら広場暗渠改修	8,200 千円
・山田グリーパーク野球場調査設計委託	9,000 千円

## 3 要求額

(1)歳出額 221,200 千円

(2)財源内訳

・一般財源 221,200 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 畑 太志
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 トップチーム支援事業

## 1 事業の趣旨

岡山市を拠点として活動するトップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ)は、市民の誇りとなり、また、その活躍が市の活力となる力を持つことに鑑み、その存在がより幅広く市民に浸透していくよう、トップチームへの支援を実施します。

## 2 事業内容

- ・ホームゲームのうち、年に1ゲームを「市民デー」とし、各種イベントを実施
- ・トップチームの選手により、市内の小学生と一緒に給食を食べて体を動かす事業を実施し、「食べること」「動くこと」の大切さを啓発
- ・日本三名園の地元自治体をホームタウンとするチームの対戦ゲームにおいて、「アラウンド・ザ・日本三名園」と銘打ち、ホームタウンとなる三都市が連携して各種PRを実施
- ・音楽とコラボし、スポーツと音楽の相互の分野で新たなファン獲得を目指すとともに、市のスポーツ・文化力をより向上させる事業として、「オール岡山ウインドオーケストラ」連携事業を実施
- ・岡山シーガルズのホームゲーム開催時に、岡山シーガルズの選手が着用するユニフォームに「岡山市」のロゴを入れる

## 3 要求額

(1)歳出額 4,081 千円

(2)財源内訳

・一般財源 4,081 千円

(前年度当初予算額 1,122 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 畑 太志
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 おかやまマラソン

## 1 事業の趣旨

おかやまマラソン2016を、市民、県民総参加のもとで「走る」「みる」「支える」大会として開催します。

また、大会及び関連行事の開催を通じ、岡山市及び岡山県の魅力を発信し、観光誘客や産業振興につなげることにより、地域の活性化を図ります。

開催予定日：平成28年11月13日（日）

## 2 事業内容

### ○ 平成28年度「おかやまマラソン2016」開催経費

岡山県ほか関係団体と共同して、日本陸連公認コース(フルマラソン)を使用した都市型マラソン大会を開催します。併せて、大会前日、当日の両日には、主会場周辺で「おかやまマラソンEXPO」を開催し、岡山のご当地グルメや、特産品などの物販、各地域の情報発信などを行います。

また、年間を通じて、県内外へのPRキャラバンの派遣、ランニング教室の開催など大会PRや大会開催機運の醸成に努めながら、県内他大会の実施主体と連携し、大会の共同PRなどの取り組みも展開し、これらを通じて、岡山市や岡山県のスポーツ振興や情報発信、地域の活性化を図ります。

### ○ 平成29年度「おかやまマラソン2017」開催準備経費

第3回大会の開催準備を進めるとともに、PRキャラバンの派遣などを行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 95,516 千円

(2)財源内訳

・一般財源 95,516 千円

(前年度当初予算額 96,349 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 畑 太志
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 全国高等学校総合体育大会の開催

## 1 事業の趣旨

「高等学校教育の一環として高校生に広くスポーツの実践機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な高校生を育成するとともに、高校生相互の親睦を図る」ことを目的に、平成28年度に中国5県で全国高等学校総合体育大会(通称「インターハイ」)が開催されます。

岡山市内では陸上競技、バドミントン、剣道の3競技を実施します。

## 2 事業内容

### (1)実施内容

- ・平成28年度全国高等学校総合体育大会における岡山市開催競技の実施
- ・平成28年度全国高等学校総合体育大会岡山市実行委員会の運営

### (2)開催期間・場所

陸上競技：平成28年7月29日(金)～8月2日(火) シティライトスタジアム

バドミントン：平成28年8月7日(日)～12日(金) ジップアリーナ岡山・岡山市総合文化体育館

剣道：平成28年8月2日(火)～5日(金) ジップアリーナ岡山

### (3)実施主体

全国高等学校総合体育大会岡山市実行委員会

## 3 要求額

(1)歳出額 60,000 千円

### (2)財源内訳

・一般財源 60,000 千円

(前年度当初予算額 3,800 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 畑 太志
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山市体育協会の体制強化(法人化)

## 1 事業の趣旨

岡山市体育協会は、岡山市におけるスポーツ・レクリエーションの普及振興と市民の健康や体力の増進を図ることを目的に昭和23年に設立された任意団体です。

同協会では、これまで公益性の高い事業活動を通じて、岡山市の施策の推進を補完する役割を担ってきましたが、組織・財政基盤が脆弱であることや自主事業が少ないことなどから、自らの体制強化が必要であると認識し、組織の変革と発展のために、平成28年4月の一般財団法人設立を目指しています。

岡山市ではスポーツ推進体制の充実を図る目的から、地域のスポーツ統括団体である同協会が公益増進の担い手として今後一層各種事業を主体的に推進していくことができるよう、法人設立に合わせて、現在岡山市で行っている各種事務事業を同協会に移管するとともに、同協会の安定的かつ適正な法人運営に向けた支援を行います。

## 2 事業内容

- ・岡山市民体育大会等の各種大会、競技力向上事業等の事務事業の移管
- ・安定的かつ適正な法人運営に係る支援

## 3 要求額

(1)歳出額 55,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 55,000 千円

(前年度当初予算額 35,200 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 畑 太志
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 放課後児童健全育成事業

## 1 事業の趣旨

保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。

## 2 事業内容

- 児童クラブでの事業の円滑な運営を図るとともに、必要な施設の整備を図る。
- 開所延長や障害児受入推進等の「質の改善」を行い、女性の社会進出、児童の健全育成、障害児の支援を促進する。
- 児童クラブの「量の確保」を推進し、希望する全ての児童の受入、放課後児童の安全・安心な居場所づくりを促進する。

## 3 要求額

(1)歳出額 1,301,087 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 405,005 千円
- ・県支出金 404,803 千円
- ・地方債 85,100 千円
- ・その他 589 千円
- ・一般財源 405,590 千円

(前年度当初予算額 811,290 千円)

担当課名	岡山っ子育成局地域子育て支援課
担当者名	課長 大武 義宏
電 話	内線 4761
	直通 086-803-1589

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進事業

## 1 事業の趣旨

幼稚園と保育園を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。

## 2 事業内容

教育・保育提供区域(市内30区域)ごとに、公としての役割を担う施設を定め、「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」(平成24年12月策定)を基本方針として、幼保一体化の推進、施設配置の最適化及び未入園児童の縮減に取り組む。

○平成28年度施設整備対象園

甲浦保育園・幼稚園他5園

## 3 要求額

(1)歳出額 344,154 千円

(2)財源内訳

・地方債 274,900 千円

・一般財源 69,254 千円

(前年度当初予算額 40,000 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども園推進課
担当者名	課長 花房 明彦
電 話	内線 4730
	直通 086-803-1430

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 児童福祉施設整備費助成事業

## 1 事業の趣旨

児童福祉施設入所者等の福祉の向上を図るため、社会福祉法人等が行う児童福祉施設の整備に要する費用に対して、国の次世代育成支援対策施設整備交付金を活用して助成を行います。

## 2 事業内容

○旭川乳児院 177,765 千円

旭川乳児院(昭和54年築)は、耐震基準を満たしておらず地震時に倒壊又は崩壊する危険性があるため改築を行う。

○岡山聖園子供の家 16,200 千円

岡山聖園子供の家(昭和43年築)は、老朽化による防水機能の劣化や外壁の亀裂が著しいため修繕を行う。

## 3 要求額

(1)歳出額 193,965 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 129,310 千円

・一般財源 64,655 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども企画総務課
担当者名	課長 小西 洋史
電 話	内線 4760
	直通 086-803-1220

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 私立保育園施設整備費助成事業

## 1 事業の趣旨

私立保育園の新設整備等を実施する事業者に対し、施設整備の補助金を交付します。

## 2 事業内容

待機児童解消に向けて国の待機児童解消加速化プランの推進事業として、子どもを安心して育てることができる体制を整備するため、保育園の施設整備に要する経費に対し、私立保育所緊急整備事業等補助金を交付するもの。

### ○平成28年度整備対象事業者

社会福祉法人 岡山千鳥福祉会

社会福祉法人 双葉会

社会福祉法人 岡山愛育会

社会福祉法人 愛あい会

## 3 要求額

(1)歳出額 459,867 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 408,771 千円

・地方債 45,900 千円

・一般財源 5,196 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども園推進課
担当者名	課長 花房 明彦
電 話	内線 4730
	直通 086-803-1430



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 子ども医療費助成制度拡充事業

## 1 事業の趣旨

子ども医療費助成制度は、平成27年度に最重点事業と位置付け拡充準備を進め、平成28年4月以降、新制度に移行することとなりますが、引き続き最重点事業として、拡充後の事務の円滑な執行に努めるとともに、制度拡充に伴い救急医療の適正な受診について啓発し、子ども医療費の適正化を図ります。

拡充内容 小学生の外来について、現行の3割の自己負担から1割に軽減

## 2 事業内容

- 制度拡充に係る事業費 770,683 千円
  - ・拡充に係る償還払い給付、差額給付事務等
  - ・拡充後の影響に係るデータ収集・分析等に伴う事務
  - ・拡充に係るシステム整備事務
  - ・適正受診啓発関係事務
- 小児救急適正受診の啓発 2,926 千円
  - ・初期救急医療制度の周知・啓発
  - ・乳幼児をもつ親子対象の出前講座

## 3 要求額

(1)歳出額 773,609 千円

(2)財源内訳

・一般財源 773,609 千円

(前年度当初予算額 40,000 千円)

担当課名	保健福祉局医療助成課	保健福祉局医療政策推進課
担当者名	課長 遠藤 清之	課長 福井 貴弘
電 話	内線 5720	内線 3950
	直通 086-803-1219	直通 086-803-1636

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 ひとり親家庭学習支援事業 新規  
ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 新規

## 1 事業の趣旨

貧困率の高いひとり親家庭について、貧困の連鎖を防止するために、子どもの学習支援を推進します。また、親についても安定的な収入が得られ自立できるよう、支援の充実を図ります。

## 2 事業内容

○ひとり親家庭学習支援事業 8,019 千円

ひとり親家庭で低所得世帯の子どもについて、基礎学力の向上を図り、高等学校進学を支援するため、学習支援を実施する。

○ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 900 千円

ひとり親家庭の親が高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す場合において、民間事業者などが実施する対策講座の受講費用の軽減を図るための給付金を支給する。

## 3 要求額

(1)歳出額 8,919 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 4,684 千円

・一般財源 4,235 千円

(前年度当初予算額 － 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども福祉課
担当者名	課長 田渕 澄子
電 話	内線 4781
	直通 086-803-1221

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 特定不妊治療費助成事業

## 1 事業の趣旨

少子化対策の一環として、特定不妊治療を受ける夫婦に対し治療費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

## 2 事業内容

現在、特定不妊治療(体外受精、顕微授精)に対する助成(治療内容に応じ、15万円又は7万5千円)を行っているが、早期受診を促す観点から、初回の助成額が15万円のを30万円に拡充する。

また、特定不妊治療の過程で、男性不妊治療として精巣内から直接精子を採取する治療を行った場合に、助成額15万円を上限に上乗せする。

## 3 要求額

(1)歳出額 167,775 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 83,887 千円

・一般財源 83,888 千円

(前年度当初予算額 141,000 千円)

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 荒島 茂樹
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1250

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 妊産婦相談支援事業(子育て世代包括支援センター事業) **新規**

## 1 事業の趣旨

子ども・子育て支援法第59条に基づき、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援の実施」を行うために、子育て世代包括支援センターを設置します。

国では、平成27年度中に150か所整備し、おおむね5年後までに全国展開すると位置づけており、また「まち・ひと・しごと創生基本方針」でも、子育て世代包括支援センターの整備を図るとされており、岡山市においても「岡山市版総合戦略」に掲載しています。

## 2 事業内容

全ての妊産婦の状況を継続的に把握し、きめ細かく切れ目のない支援を行う。妊娠届出時に専門職による面接ができていない妊産婦(約70%)に対して面接等を行うなど、全ての妊産婦を継続的に把握し、関係機関と連携し、必要となる支援を行っていく。そのために、健康づくり課内に妊産婦相談支援員(助産師等の嘱託)を3名、臨時職員1名を配置する。

保健福祉会館内に、妊産婦総合相談支援窓口を開設し、次の支援を行う。

- ・妊産婦総合支援窓口の設置
- ・保健管理システムを活用した支援台帳を作成し、活用できる体制を整える。
- ・妊娠シミュレーターや沐浴人形などによる育児体験コーナーを設ける。

## 3 要求額

(1)歳出額 19,018 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 6,334 千円
- ・県支出金 6,334 千円
- ・一般財源 6,350 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 荒島 茂樹
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1250

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 女性が輝くまちづくり事業

## 1 事業の趣旨

女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。

## 2 事業内容

- 男性の育児休業取得に対する奨励金 3,000千円  
(新)市内企業に勤める男性が育児休業を取得した場合、本人及び企業に奨励金を支給
- 女性の活躍を進める情報発信事業 10,944千円  
(拡)女性活躍シンポジウム及び座談会の開催及び情報発信等
- 企業紹介事業 2,078千円  
(拡)企業等の主体的取組の促進や就職を考える人への広報等
- 女性の再就職支援事業 1,500千円
- 市内企業で働く女性の活躍応援プログラム 1,055千円
- 男性管理職セミナー開催事業 1,055千円

## 3 要求額

(1)歳出額	19,632 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	19,632 千円
(前年度当初予算額	13,000 千円)

担当課名	市民協働局女性が輝くまちづくり推進課
担当者名	課長 光藤 伸史
電 話	内線 3735
	直通 086-803-1115

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 若者と政治を考えるイベント

新規

## 1 事業の趣旨

公職選挙法改正により選挙権年齢が18歳以上になることを受け、政治について若者と一緒に考える機会と場を提供することにより投票率の向上を図る

## 2 事業内容

### (1) 内容

- ・高校生、大学生等の若者を対象としたワークショップの実施
- ・活動報告発表の場としてイベントの開催

### (2) その他 学生団体、NPO法人等と協働して事業を実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 667 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 667 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	選挙管理委員会事務局
担当者名	課長 薬師寺 孝雄
電 話	内線 4803
	直通 086-803-1545

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 総合教育会議の開催

## 1 事業の趣旨

教育に関する予算の編成・執行や条例提案など重要な権限を有している市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るため、総合教育会議を開催します。

## 2 事業内容

○総合教育会議の開催経費 650千円

【協議内容等】

- ・教育行政の大綱策定に向けた検討
- ・地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
- ・緊急の場合に講ずべき措置

○岡山っ子・人づくりのための民間活用調査研究事業 4,688千円

平成27年度に引き続き、総合教育会議の運営に当たり、国内外の各種調査結果や先進事例等に関する民間の豊富なデータと優れた知見を活用し、岡山っ子・人づくりに向けた効果的な方策等について調査研究を実施。

## 3 要求額

(1)歳出額 5,338 千円

(2)財源内訳

・一般財源 5,338 千円

(前年度当初予算額 5,579 千円)

担当課名	総務局総務法制企画課
担当者名	課長 中野 真吾
電 話	内線 4450
	直通 086-803-1081

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 はぐくむ心・あったかハート事業

## 1 事業の趣旨

子どもたち自身の生き方を見つめ直す機会、道徳の授業及び感動体験の機会を充実させることで道徳性を高め、思いやりの心や規範意識、向上心をもった岡山っ子の育成を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 研究協議会の実施【新規】

改訂学習指導要領の完全実施(小学校は平成30年度、中学校は平成31年度)に向け、学校の道徳教育担当者を対象に研究協議会を実施する。

### (2) あの人々の生き方に学ぶ講演会

子どもたちが自らの生き方を見つめ直す機会とするため、多様な経験をもつ方など、学校が希望する講師を学校に派遣し、講演会を実施する。

### (3) 道徳授業のプロデューサー事業

道徳の授業力の向上を図るため、教材の選び方や効果的な授業の展開の方法などについて指導・助言できる大学教員等を派遣する。

初年次・2年次実施校に加え、3年次実施校を設ける。【拡充】

### (4) 芸術体験活動

豊かな心の育成に向け、小学校6年生を対象に優れた演劇を鑑賞する場(2日間3公演)を設ける。

### (5) 道徳地域教材資料集の作成・配付【新規】

子どもたちが教材に親しみながら道徳的価値についての考えや郷土への愛着を深められるように地域の特性を生かした道徳地域教材資料集を作成し、小学校の各学級に配付する。

## 3 要求額

(1) 歳出額 3,447 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 2,055 千円

・一般財源 1,392 千円

(前年度当初予算額 2,650 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	課長 岡林 敏隆
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1590



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 『岡山っ子』学力向上推進事業

## 1 事業の趣旨

全国学力・学習状況調査や岡山市学力アセスの結果を分析し、「読解力・表現力・学ぶ意欲」及び「基礎学力の定着」など本市共通の学力に関する課題の解決に向けて大学と連携を図りながら、就学前教育から中等教育までの学びを連続させる一貫教育を中学校区で推進するとともに、授業改善及び人材育成に向けた取組を行います。

## 2 事業内容

### (1) 岡山市学力アセス【新規】

岡山市の独自調査を実施することで子どもたちの学力向上と全市的な教科研究を行うことを通して人材育成を図るとともに岡山型一貫教育を推進する。

### (2) 全国学力・学習状況調査の活用

大学と連携し、誤答分析等から本市の目指す「よりよい授業づくり」のモデルを示す。

### (3) いきいき学校園づくり

中学校区で目指す子ども像の実現に向けて「岡山型一貫教育」に取り組み地域に発信する。

### (4) 授業これだけは！

授業における「めあて」「まとめ」「表現活動」の徹底を図るとともに質の向上を図る。

### (5) 指導教諭の活躍

学力向上の優れた実践を広め、授業を公開するとともに他教員の授業づくりを支援する。

### (6) 学力向上推進モデル校【新規】

全国学力・学習状況調査を活用した取組で学力向上を図り、その成果を授業等で示す。

### (7) 学力向上プロジェクト

学校現場の思いとアイデアを基に、授業づくりの学習会や学力向上フォーラムを開催する。

## 3 要求額

(1) 歳出額 21,749 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 21,749 千円

(前年度当初予算額 6,000 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	課長 岡林 敏隆
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1590

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 特色ある岡山市教職員採用試験実施事業

## 1 事業の趣旨

教職員の採用試験を岡山市単独で実施し、本市が求める教職員の確保に努めます。

## 2 事業内容

平成27年度実施まで岡山県と共同で採用試験を開催していたが、岡山市単独で実施することで、本市が求める教職員を確保するための問題作成及び選考を実施する。

また、大学説明会等の広報活動は継続し、採用前研修を実施することで、教職員としての自覚を高め、新規採用者同士のつながりを深める。

- ・岡山市単独で採用試験を実施
- ・採用前研修の実施
- ・大学説明会やポスターの作成

## 3 要求額

(1)歳出額 6,124 千円

### (2)財源内訳

・一般財源 6,124 千円

(前年度当初予算額 3,188 千円)

担当課名	教育委員会事務局学事課
担当者名	課長 三宅 泰司
電 話	内線 3830
	直通 086-803-1586

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 若手教職員育成事業

新規

## 1 事業の趣旨

小学校では3年後、中学校では5年後に教職員の退職者数がピークを迎えます。

一方、初任者は毎年100名を超え、大量退職・大量採用が加速化しており、若手教職員の育成を図ることが喫緊の課題となっています。

また、ベテランと若手をつなぐミドルリーダー層が少ないこともあり、校内でノウハウを伝える取組(OJT=On the Job training : 日常業務を通じた現場研修)を推進する必要があります。

平成30年度までの3年間を目途として、先輩の教職員が指導方法等のスキルだけでなく、情熱や人間力も含めた「岡山の教育」を伝え、組織的に若手教職員を育成することができるよう支援します。

## 2 事業内容

### ①若手教職員育成のための校外研修の充実

「若手教師フォローアップ研修」等の研修で実際に教材を作成し、常勤講師を含めた若手教員の授業力を向上させる。

### ②若手教職員に対する「岡山市の教育」の基本の徹底

岡山市の教育の基本を掲載した教職員の必携テキスト『教職への期待(改訂)』を作成し、全教職員(小中学校)に配付する。

### ③学校現場で若手を育成する方法の研究

各校で組織的・計画的・意図的に推進できるOJTの方法(ベテランから若手への伝え方)を掲載した冊子を配付する。

### ④若手教員への授業スキル等の伝達

ベテラン教員のモデル授業の動画DVDを作成し、全小中学校へ配付する。

## 3 要求額

(1)歳出額 6,060 千円

(2)財源内訳

・一般財源 6,060 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	教育研究研修センター
担当者名	所長 中島 陽子
電 話	直通 086-944-7255

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 ストップ・ザ学校問題－学びの場充実事業－

## 1 事業の趣旨

いじめ等の問題行動及び不登校を減少させ、学びの場を充実させるために、「未然防止」「早期発見・早期対応」「深刻化防止」といった観点からの取組を充実させるとともに、効果的な解決につなげるための諸課題やその背景について検証を行います。

## 2 事業内容

### (1) 質問紙調査「hyper-QU」と「ASSESS」を全小中学校で年3回実施

児童生徒一人一人の学校への適応感を測定する質問紙調査を活用し、教職員が生徒理解を深め、学級集団づくりを推進するとともに、有効な手段等を全市に広めます。

### (2) スクールカウンセラーの配置【拡充】

36小学校、緑ヶ丘中を除く全37中学校、1高等学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒とその保護者からの相談や教職員への助言及び研修を行います。

### (3) 「いじめ専門相談員」2名を岡山市教育相談室へ配置

いじめ専門相談員が、いじめ等の事案で必要なケースへの支援や相談を行います。また、いじめ専用ダイヤルを設置し、いじめの早期発見、早期対応を図ります。

### (4) 不登校児童生徒支援員の配置【拡充】

市内34中学校、53小学校及び教育委員会に不登校児童生徒支援員を配置し、不登校傾向の児童生徒やその保護者に対して必要な援助を行います。

### (5) 学校問題解決サポートチームによる学校支援及び教職員対象の研修会の実施

児童生徒の指導に関わる問題で、当事者間では解決が困難なケースについて、その対応を支援するとともに、学校の対応力向上のために、研修会を実施します。

### (6) 岡山市問題行動等対策委員会の開催

岡山市問題行動等対策委員会において、いじめの防止等のための対策を審議するとともに、いじめの重大事態発生時には、事実関係を明確にするための調査を行います。

## 3 要求額

(1) 歳出額 148,681 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 32,066 千円

・一般財源 116,615 千円

(前年度当初予算額 145,543 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	教育支援担当課長 松浦 敏之
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1592

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 学校支援ボランティア

## 1 事業の趣旨

学校園や地域での教育活動や環境整備などの取組に対して、学生や保護者、地域住民の様々な特技や趣味などを活かして支援します。

平成28年度では、総合教育会議での議論を踏まえ、学校現場の一層の活性化を図るために、ボランティアを希望する学生のグループ化を図るなど、新たな取組を進めていきます。

## 2 事業内容

- 学生ボランティア連絡協議会の設立
- 学生ボランティア研修会・シンポジウムの開催
- 学生ボランティアの交通費補助
- 学生ボランティア保険の加入
- 開かれた学校づくり教育講演会の実施

## 3 要求額

(1)歳出額 2,615 千円

(2)財源内訳

・一般財源 2,615 千円

(前年度当初予算額 1,198 千円)

担当課名	教育委員会事務局生涯学習課
担当者名	課長 安信 卓
電 話	内線 3860
	直通 086-803-1608

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 学校業務アシスト事業

## 1 事業の趣旨

小・中学校に岡山市独自で教職員を補助する事務処理員を配置し、教職員の事務負担を軽減させ、児童生徒と向き合える時間を捻出することで、教育環境の向上を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 概要

平成27年度から岡山市独自で、教職員サポートプロジェクトとして行ってきたが、学校規模が大きいほど事務量も多く、配当時数が不足しているため、中規模校及び大規模校の週当たりの時間を5時間増加して、学校業務アシスト職員をより有効に活用できるようにして事業目的を目指す。

### (2) 配置規模

- ・岡山市立の全小・中学校を対象
- ・1週間当たり5～30時間(学校規模による)×35週 =年間配置時間

## 3 要求額

(1) 歳出額 77,922 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 25,806 千円
- ・一般財源 52,116 千円

(前年度当初予算額 65,000 千円)

担当課名	教育委員会事務局学事課
担当者名	課長 三宅 泰司
電 話	内線 3830
	直通 086-803-1586

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 部活動サポート事業

## 1 事業の趣旨

岡山市立中学校及び同高等学校に対し、岡山市教育委員会が認めた外部指導者を派遣し、部活動において顧問教員の負担を軽減するとともに、開かれた学校づくりを推進します。

## 2 事業内容

対 象 校 岡山市立中学校及び岡山市立岡山後楽館高等学校  
派遣回数 運動部80名 年間100回(1か月10回)  
文化部20名 年間40回(1か月4回)  
指導時間 1回につき2時間程度  
実施期間 4月～11月、1～2月 (年度途中からの派遣も可能)

## 3 要求額

(1)歳出額 27,335 千円

(2)財源内訳

・一般財源 27,335 千円

(前年度当初予算額 16,875 千円)

担当課名	教育委員会事務局保健体育課
担当者名	課長 長畑 智
電 話	内線 3850
	直通 086-803-1594

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 操山地区公民館建設事業

## 1 事業の趣旨

市内の中学校区で唯一地区公民館が整備されていない操山地区の状況を解消するとともに、老朽化している教育相談室・適応指導教室(あおぞら清輝)を建替えるため、教育相談室・適応指導教室と複合化し、整備します。

## 2 事業内容

整備用地を土地開発基金から取得し、施設を整備する。

### 整備概要

整備場所	中区国富3丁目
敷地面積	3,719.61㎡
延床面積	1,850㎡(公民館1,200㎡、適応指導教室650㎡)
構造	鉄骨造り3階建て

## 3 要求額

(1)歳出額 819,086 千円

### (2)財源内訳

・地方債	733,000 千円
・一般財源	86,086 千円

(前年度当初予算額 34,900 千円)

担当課名	教育委員会事務局生涯学習課
担当者名	課長 安信 卓
電 話	内線 3860
	直通 086-803-1608



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 インターネット予約図書を受取・返却窓口拡充事業

新規

## 1 事業の趣旨

図書館の蔵書を携帯電話や自宅のパソコンなどから予約するインターネット予約が増加しているため、現在のインターネット予約図書を受取・返却場所である10館の図書館に加えて、市民にとって身近な公民館を受取・返却窓口にすることで、図書館から離れた地域の市民への利便性を高め、図書サービスの拡充を図ります。

## 2 事業内容

平成28年度は、モデル事業として3公民館で実施し、各モデル公民館でインターネット予約を含む予約図書を受取・返却作業を行う。

モデル公民館

- ・高松公民館
- ・福田公民館
- ・高島公民館

## 3 要求額

(1)歳出額 20,377 千円

(2)財源内訳

・一般財源 20,377 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	中央図書館
担当者名	館長 宮本 嘉彦
電 話	直通 086-223-3373

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕

協働のまちづくり条例普及・促進事業

**新規**

## 1 事業の趣旨

「協働のまちづくり条例」の改正、施行を受け、新たな審議会を設置並びに推進計画の策定・検証、推進体制の整備を行うことによって、多様な主体の協働による社会課題の解決を促進し、持続可能な地域社会を目指します。

## 2 事業内容

### (1)審議会の設置

審議会「市民協働推進委員会(仮称)」を条例設置し、推進計画の策定・検証を行うとともに、各種支援施策を審査

### (2)フォーラムの開催並びにNPO法人の基盤強化事業

○ 年2回フォーラムを開催し、市民協働条例の普及、協働推進のため、先進的な協働事例に学び、取組を広げる

○ 協働のパートナーとなるNPO法人が健全な事務局運営ができるよう、事務手続き等の点検を行い、よりよい運営ができるNPO法人を育成

### (3)推進計画の策定・検証

### (4)優れた協働事業の表彰

### (5)庁内の協働推進本部の設置並びに各課への協働推進員の配置

## 3 要求額

(1)歳出額 4,678 千円

### (2)財源内訳

・一般財源 4,678 千円

(前年度当初予算額 452 千円)

担当課名	市民協働局市民協働企画総務課
担当者名	市民協働支援担当課長 赤木 和彦
電 話	内線 3273
	直通 086-803-1061

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山ESDプロジェクト推進事業

## 1 事業の趣旨

国内外のESD関係機関やESDを推進する都市等との連携・交流、ESD活動団体の情報等ESDに関する各種情報発信、ESD活動団体支援や人材育成などに取り組む岡山ESD推進協議会の活動支援等により、ESDの周知・啓発や活動促進を図ります。

## 2 事業内容

- 関係省庁との連絡・調整やユネスコのキーパートナーとの連携・交流等
- 「おかやまESDなび」による情報発信
- 映像等による岡山のESD活動のPR
- 岡山ESD推進協議会への負担金
  - ・岡山ESDプロジェクト助成金
  - ・ESDコーディネーター養成研修の実施
  - ・ESD岡山アワードの実施
  - ・国内外のRCE等との交流促進
  - ・「ESD推進による持続可能な社会づくり担い手育成及び地域の受け皿発掘事業(地方創生総合戦略関連事業)」によるESDインターンシップ等の実施 等

## 3 要求額

(1)歳出額 27,949 千円

(2)財源内訳

・一般財源 27,949 千円

(前年度当初予算額 23,704 千円)

担当課名	市民協働局ESD推進課
担当者名	課長 安田 充年
電 話	内線 3761
	直通 086-803-1351

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 健康寿命の延伸プロジェクト

## 1 事業の趣旨

健康寿命の延伸に向け、運動の普及・定着、高血圧や脳卒中予防に向けた食生活の改善、健康に取り組む仲間づくりといった、健康づくりに取り組みやすい働きかけと基盤整備を行います。

## 2 事業内容

○ 健幸ポイントプロジェクト	152,750 千円
○ ええとこ発見図作成を通じた地域力の創生	19,908 千円
○ 70万人市民トリオでウォーク	12,250 千円
○ 健康市民おかやま21(第2次)普及啓発推進事業	6,540 千円
○ かるうま減塩キャンペーン	1,490 千円
○ 高齢者に対する低栄養予防アドバイス事業	2,517 千円
○ かるうま減塩対策普及啓発事業	4,448 千円
○ 受診率向上対策セットけんしん事業	3,987 千円
○ その他	4,127 千円

## 3 要求額

(1)歳出額 208,017 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金	143,390 千円
・その他	787 千円
・一般財源	63,840 千円

(前年度当初予算額 41,020 千円)

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 荒島 茂樹
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1250

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 生涯現役社会づくり事業

## 1 事業の趣旨

今後の超高齢者社会を見据え、高齢になっても市民一人ひとりが生活を通じて心身ともに健やかに暮らせるために、働く意欲のある高齢者が培った能力や経験を活かし、生涯現役で活躍し続けることができる社会環境を整えます。

## 2 事業内容

- ・岡山市社会福祉協議会へ委託し、「高齢者」と「高齢者が活躍できる企業や地域社会」をつなぐコーディネーターを配置(平成27年度2名から平成28年度3名に増員)
- ・相談窓口として「生涯現役応援センター」を設置(平成27年9月開設)
- ・平成28年度は各福祉区毎において、出張相談窓口も実施
- ・事業の周知及びニーズ発掘のため、ホームページの開設やセミナーを実施
- ・関係機関と連携、協力して、生涯現役社会を構築するため、引き続き検討会、連絡協議会を開催

## 3 要求額

(1)歳出額 21,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 21,000 千円

(前年度当初予算額 11,000 千円)

担当課名	保健福祉局高齢者福祉課
担当者名	課長 在本 要
電 話	内線 5960
	直通 086-803-1230

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 国民健康保険財政健全化計画の推進

## 1 事業の趣旨

増え続ける保険給付費を賄うため、一般会計からの法定外繰入が年々増加しています。財政健全化計画に基づいて、医療費適正化、収納率向上対策事業を積極的に行うとともに、保険料率の改定を検討します。

平成30年度に予定されている国保財政運営の都道府県化を視野に入れ、国保財政の安定的な運営を図ります。

## 2 事業内容

○保険料収納率向上特別対策事業 27,142千円

申告勧奨や不現住調査による賦課の適正化、電話催告、夜間納付相談等による滞納対策、口座振替促進による滞納未然防止対策等

○医療費適正化特別対策事業 35,019千円

医療費分析結果に基づく健康課題の明確化、柔道整復医療費、海外療養費に係る点検及び周知・啓発等

○保健衛生普及事業 27,856千円

健康相談、禁煙治療費助成、医療費通知等

○ジェネリック医薬品差額通知等事業 3,707千円

ジェネリック医薬品を利用した場合の自己負担額の差額を通知

○早期介入保健指導等事業 13,369千円

35歳～39歳の被保険者に対する健診実施、慢性腎臓病等に着眼したフォローアップ保健指導等

○特定健康診査等事業 320,748千円

特定健康診査の実施及び協会けんぽとの連携等による集団健診、節目年齢への集中受診勧奨等による特定健診受診率向上のための施策

## 3 要求額

(1) 歳出額 427,841 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 88,331 千円

・県支出金 145,722 千円

・その他 176,396 千円

・一般財源 17,392 千円

(前年度当初予算額 449,548 千円)

担当課名	保健福祉局国保年金課
担当者名	課長 長田 定文
電 話	内線 5970
	直通 086-803-1136

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 在宅医療・介護の推進

## 1 事業の趣旨

超高齢社会を迎えるにあたり、市民が住みなれた地域で最期まで安心して暮らすことができるように、医療・介護分野の連携機能を強化するとともに、安心を支える最適な地域医療システムを構築し、予防、診療から介護まで切れ目のないサービスを受けられる仕組みをつくります。

## 2 事業内容

平成28年度は、新市民病院内に開設した「地域ケア総合推進センター」を地域医療ネットワークの拠点として、平成23年度から取り組んできた在宅医療・介護の推進に向けた取り組みをさらに発展させ、最適な地域医療システムの構築を目指す。

(1)「地域ケア総合推進センター」 38,613千円

- ・ 市民及び専門職を対象とした医療・介護の相談・支援
- ・ 在宅医療推進・多職種連携の拠点
- ・ 地域包括支援センターの活動支援及び認知症ケアの推進

(2)在宅医療・介護連携基盤の確立 49,154千円

- ・ 在宅基盤整備(人材育成)
- ・ 在宅への流れの構築(多職種連携等と情報共有の促進)
- ・ 市民の安心(普及啓発)

## 3 要求額

(1)歳出額 87,767 千円  
     一般会計 27,917千円      介護保険費特別会計 59,850千円

(2)財源内訳

・国庫支出金	17,492 千円
・県支出金	8,746 千円
・その他	9,866 千円
・一般財源	51,663 千円
(前年度当初予算額)	59,920 千円)

担当課名	保健福祉局医療政策推進課	保健福祉局介護保険課
担当者名	課長 福井 貴弘	課長 小藤 亜希子
電 話	内線 3950	内線 5780
	直通 086-803-1636	直通 086-803-1240

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 在宅介護総合特区～AAAおかやま～の推進

## 1 事業の趣旨

在宅に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。

## 2 事業内容

○デイサービス改善インセンティブ事業 8,637千円

通所介護事業所の介護サービスの質を評価し、利用者の状態の維持改善を図る事業所についてインセンティブを与えることで、事業所の介護サービスの質の向上を図る。

○介護機器貸与モデル事業 76,511千円

在宅で生活する人の利便や自立につながる最先端の介護機器を1割負担で貸与する。

○介護予防ポイント事業 8,526千円

高齢者が行った介護予防への取り組みや、地域の介護予防事業等のサポートの実績に応じポイントを付与し、貯まったポイントを換金する。

○総合特区推進事務費 3,370千円

## 3 要求額

(1)歳出額 97,044 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金	30,186 千円
・県支出金	15,094 千円
・その他	32,294 千円
・一般財源	19,470 千円

(前年度当初予算額 109,536 千円)

担当課名	保健福祉局医療政策推進課
担当者名	課長 福井 貴弘
電 話	内線 3950
	直通 086-803-1638



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山市版オレンジプラン(認知症施策の指針)の推進事業

## 1 事業の趣旨

介護負担の大きい認知症高齢者が急増している中、認知症ケアの強化を目指した国の「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」に沿って、「認知症になっても本人の意思を尊重し、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会」を目標に、地域での医療や介護、見守りなどの日常生活支援サービスを包括的に提供する体制づくりを目指します。

## 2 事業内容

- 認知症初期集中支援事業 16,517千円  
認知症支援チームによる早期発見・早期支援
- 認知症高齢者見守り事業 6,023千円  
認知症SOSネットワーク事業、認知症身元不明高齢者一時保護事業
- 認知症地域支援事業 6,869千円  
認知症カフェ事業
- 認知症対策連携等事業 2,944千円  
認知症コールセンター、認知症サポーター等養成事業

## 3 要求額

(1)歳出額	32,353 千円
(2)財源内訳	
・国庫支出金	12,942 千円
・県支出金	5,734 千円
・その他	6,471 千円
・一般財源	7,206 千円

(前年度当初予算額 23,860 千円)

担当課名	保健福祉局高齢者福祉課
担当者名	課長 在本 要
電 話	内線 5960
	直通 086-803-1230

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕

身近な介護予防教室推進事業

新規

## 1 事業の趣旨

高齢者の増加が急激に進む中、元気で長生きを目指す介護予防が大変重要である。介護予防を推進していくためには、毎週定期的な介護予防教室を開催するなど、介護予防の知識提供や実践の場、また交流する場が必要となっています。

平成26年度より、生活圏域単位(中学校区)に介護予防教室を介護予防センターが定例開催し、知識・実践方法の普及啓発だけでなく、ボランティアの活動の場、地域のサロン活動への情報提供の場となっています。

しかしながら、高齢者が歩いて通うには距離があり、開催頻度が少ない通いの場も多いことから、小学校区に事業を拡大します。

## 2 事業内容

- 事業所が小学校区ごとに、地域交流スペースや公民館等で、地域住民と協働し介護予防教室を開催。(H28は12カ所の事業所へ助成予定)
- 週1回以上、2～3時間の教室で、介護予防の講座などの座学、体操やレクリエーション、地域の交流等を実施

## 3 要求額

(1)歳出額 1,680 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 420 千円
- ・県支出金 210 千円
- ・その他 840 千円
- ・一般財源 210 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	保健福祉局高齢者福祉課
担当者名	課長 在本 要
電 話	内線 5960
	直通 086-803-1230

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 第17回介護保険推進全国サミット 新規

## 1 事業の趣旨

岡山市が先進的に実施している在宅医療・介護の推進や認知症施策などの取組を全国に向けて発信します。

## 2 事業内容

### (1)実施内容

介護分野における先進自治体による取組事例、課題等についてセミナーを実施し、地方自治体の職員、介護・福祉関係者などが交流して意見交換を行うとともに、在宅医療・介護の推進や認知症施策など本市が先進的に実施している取り組みを岡山市主催において発信する。

(2)開催日程 平成28年10月20日(木)・21日(金)

## 3 要求額

(1)歳出額 35,081 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 500 千円  
・県支出金 20,000 千円  
・一般財源 14,581 千円

(前年度当初予算額 1,200 千円)

担当課名	保健福祉局介護保険課
担当者名	課長 小藤 亜希子
電 話	内線 5780
	直通 086-803-1240

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 障害者就労支援事業

## 1 事業の趣旨

就労は、障害者の自立・社会参加の重要な柱です。

障害者とその適正や能力に応じた多様な働き方を選択できるよう、福祉、雇用、教育の各分野の連携を図りながら就労支援に取り組むとともに、障害者就労施設の工賃向上を支援します。

## 2 事業内容

### ○障害者一般就労支援事業

障害者を雇用する企業や職場実習を受入れる企業の開拓、福祉施設から企業等に就職する活動への支援、就職面接会の実施などを民間事業者に委託して実施。また、研修会などの実施により、障害者雇用を促進する。

### ○障害者職場定着支援事業

#### ・働く障害者のための交流拠点事業

企業等で働く障害者等が交流や相談ができる拠点を整備し、職場への定着を推進する。

#### ・障害者職場定着支援活動費補助金

障害者就労支援機関が、一般就労後6か月を超えて継続就労している障害者に対して職場定着支援活動の費用の一部を助成する。

### ○障害者工賃向上支援事業

障害者就労施設が製作する商品の開発や販路拡大等を支援し工賃向上を促進する。

## 3 要求額

(1)歳出額 22,008 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 11,004 千円

・県支出金 5,502 千円

・一般財源 5,502 千円

(前年度当初予算額 18,328 千円)

担当課名	保健福祉局障害福祉課
担当者名	課長 田中 康広
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1234

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 障害者差別解消推進事業 新規

## 1 事業の趣旨

平成28年4月に障害者差別解消法が施行されることに伴い、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を図ります。

## 2 事業内容

- 合理的配慮の提供(意思疎通支援の拡大)

手話通訳者の新規配置(既存は、障害福祉課2人(北区役所・中央福祉事務所をカバー))、中区・東区・南区 各区役所1人 合計5人

TV電話の新規設置(既存は障害福祉課、東区役所・南区役所(平成27年度に中区福祉事務所・南区南福祉事務所を追加))、中区役所・3福祉事務所へ各1台設置 合計9台

- 障害者差別解消支援地域協議会

障害を理由とする差別についての情報共有を基に事案の解決を後押しするための協議を行い、関係機関において差別の解消を図る。

## 3 要求額

(1)歳出額	8,693 千円
(2)財源内訳	
・国庫支出金	248 千円
・県支出金	124 千円
・一般財源	8,321 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	保健福祉局障害福祉課
担当者名	課長 田中 康広
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1234

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 生活困窮者自立支援事業

## 1 事業の趣旨

生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある方を対象に自立支援事業を実施します。

## 2 事業内容

生活困窮状態にある者を、生活保護に至る前の段階で、困窮状態から早期に脱却することを支援するため、法に基づく必須事業及び任意事業を実施し、対象者の状態に応じた支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援の体制を構築する。

- 自立相談支援事業 …… 困窮者からの相談を幅広く受け、自立に向けてアセスメントの実施、プランの作成等の支援を行うほか、関係機関のネットワークづくりを行う。
- 住居確保給付金の支給 …… 離職者等で、所得が一定水準以下のものに対し、有期で家賃相当額を給付する。
- 就労準備支援事業 …… 直ちに一般就労が困難な困窮者に、就労に向けて生活訓練や社会訓練を有期で実施する。
- 一時生活支援事業 …… 住居のない困窮者に一定期間、宿泊場所・衣食を提供し、就労等自立に向けて支援する。
- 家計相談支援事業 …… 家計に問題を抱える困窮者が自ら家計管理できるよう支援する。
- 学習支援事業 …… 生活保護受給世帯の中学生等を対象に個別学習・相談支援を行い高校進学を支援するとともに、進学後の中退防止に取り組む。

## 3 要求額

(1)歳出額	126,037 千円
(2)財源内訳	
・国庫支出金	85,174 千円
・一般財源	40,863 千円
(前年度当初予算額)	126,410 千円)

担当課名	保健福祉局生活保護・自立支援課
担当者名	課長 山田 秀和
電 話	内線 5940
	直通 086-803-1349

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 生活保護適正実施の推進

## 1 事業の趣旨

稼働能力を有する生活保護受給者に対し、様々な角度から就労支援を行うとともに、生活保護費の約半分を占める医療扶助の適正化を図ることにより、生活保護制度の適正実施を推進します。

## 2 事業内容

### ○ 生活保護受給者就労支援事業

稼働能力を有する生活保護受給者に対し、様々な角度から就労支援を行うことで能力活用を促し、世帯の自立を促進する。

- ・就労支援相談員の活用
- ・ハローワークとの連携による一体的実施
- ・就職サポート事業及び就労準備支援事業の実施

### ○ 医療扶助適正化推進事業

医療扶助の適正化を図るため、後発医薬品の使用促進や適正受診指導を行うとともに、受給者の健康面に着目した支援を行い生活習慣病等の重症化を防止する。

- ・医療扶助適正化推進員の活用
- ・レセプト内容点検の充実
- ・後発医薬品の使用促進等医療扶助の適正化 等

## 3 要求額

(1) 歳出額 104,502 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 74,245 千円
- ・一般財源 30,257 千円

(前年度当初予算額 107,035 千円)

担当課名	保健福祉局生活保護・自立支援課
担当者名	課長 山田 秀和
電 話	内線 5940
	直通 086-803-1349

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 臨時福祉給付金給付事業

## 1 事業の趣旨

消費税率の引上げに際し、低所得者ほど生活に必要な食料品の消費支出の割合が高いことを踏まえ、低所得者対策として暫定的・臨時的な給付(簡素な給付措置)を行います。

また、アベノミクスの成果の均てんの観点から、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者及び障害・遺族基礎年金受給者に給付(年金生活者等支援臨時福祉給付金)を行います。

## 2 事業内容

### ・簡素な給付措置

支給額 3千円

対象者 約137,000人(市民税非課税者等)

支給時期 平成28年10月以降支給開始予定

### ・年金生活者等支援臨時福祉給付金

支給額 30千円

対象者 ①約66,000人(平成27年度の簡素な給付措置の対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる者)

②約10,000人(平成28年度の簡素な給付措置の対象者のうち、障害・遺族基礎年金の受給者(①を除く))

支給時期 ①平成28年度前半に支給開始予定

②平成28年10月以降支給開始予定(簡素な給付措置と併せて給付)

## 3 要求額

(1)歳出額 2,858,549 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 2,858,549 千円

(前年度当初予算額 1,004,000 千円)

担当課名	福祉援護課 臨時福祉給付金対策室
担当者名	課長 松尾 隆通
電 話	内線 4830
	直通 086-803-1291



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 防災情報ネットワーク整備事業

## 1 事業の趣旨

本庁及び各区役所の災害対策本部間での情報通信手段を多重化することで、災害時の情報通信手段を確保します。

中区役所の建替え整備に伴い中区災害対策本部に無線デジタル通信設備を整備します。

これにより、本庁及び各区役所間での情報通信手段の多重化が完成します。

## 2 事業内容

中区役所、金山中継所への多重無線回線整備

## 3 要求額

(1)歳出額 95,586 千円

(2)財源内訳

・地方債 79,600 千円

・一般財源 15,986 千円

(前年度当初予算額 1,996 千円)

担当課名	危機管理室
担当者名	危機管理担当課長 田渕 康弘
電 話	内線 5850
	直通 086-803-1082

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕

国土強靱化地域計画策定事業

新規

## 1 事業の趣旨

国土強靱化基本法に基づく国土強靱化地域計画として「岡山市国土強靱化地域計画」を策定し、市域における国土強靱化の取り組みを総合的かつ計画的に推進します。

## 2 事業内容

### 【計画の概要】

- ・ 想定する災害リスク

⇒南海トラフ地震及び津波、断層型地震、土砂災害、洪水、高潮、内水氾濫

- ・ 脆弱性の分析・評価

1 回避すべき事態として「起きてはならない最悪の事態」を設定

2 上記事態の回避に向けた課題や現状の取組の分析・評価等

- ・ 推進方針の検討

脆弱性評価の結果を踏まえ、基本目標の達成に向け、ハード・ソフト両面から市域の強靱化を図るための施策分野別の推進方針や数値目標等を設定

### 【計画の推進期間】

計画内容は、政府が定める国土強靱化基本計画に準じ概ね5年ごとに見直すこととし、当初の推進期間は、平成29年度から平成33年度までとします。

## 3 要求額

(1) 歳出額 3,101 千円

(2) 財源内訳

・ 一般財源 3,101 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	危機管理室
担当者名	危機管理担当課長 田渕 康弘
電 話	内線 5850
	直通 086-803-1082

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 橋梁長寿命化対策事業

## 1 事業の趣旨

市管理橋梁は高度成長期に多数建設されており、橋長15m以上の橋梁のうち架設後50年以上経過する橋梁数は現在全体の約1割程度であるが、10年後には約4割、20年後には約6割となります。

また、橋梁の耐用年数は50年程度とされていますが、適切なメンテナンスにより100年以上は使用可能といわれており、これらの老朽化する橋梁に対し、従来の事後保全型の維持管理を続けた場合、補修、更新費用が大幅に増加し、適切な維持管理を続けることが困難となる恐れがあります。

これら橋梁の適切な点検と評価に基づく補修や補強を実施することにより、補修・更新費用を低減・平準化するとともに、橋梁の長寿命化を図り、道路利用者の安全・安心を確保します。

## 2 事業内容

### (1)事業内容

- ・ 橋長2m以上の橋梁の定期点検 3,025橋
- ・ 長寿命化のための詳細設計の実施(6橋)
- ・ 橋梁補修工事の実施(10橋)

(2)期 間 平成21年度～平成34年度

## 3 要求額

(1)歳出額 927,000 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 509,500 千円
- ・地方債 130,200 千円
- ・一般財源 287,300 千円

(前年度当初予算額 430,000 千円)

担当課名	都市整備局道路港湾管理課
担当者名	課長 頼経 秀智
電 話	内線 3664
	直通 086-803-1416

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 消防署所適正配置事業

## 1 事業の趣旨

近い将来に発生が予想される南海トラフ地震に対応できるよう、「新耐震基準」に適合していない消防庁舎を建て替え、災害に強い防災拠点の整備を進めます。

## 2 事業内容

区 分	(仮称)吉備津出張所	建部出張所
事業期間	平成27年度～ 平成28年度	平成27年度～ 平成28年度
平成28年度 事業内容	建築工事等	建築工事等
整備場所	北区高松原古才246-2 (高松ふれあいプラザ跡地)	北区建部町福渡839-2 (隣接地建替え)
その他	・北区吉備津1016-5から移転 ・高松地域センターと合築	

## 3 要求額

(1)歳出額 425,260 千円

(2)財源内訳

・地方債 422,000 千円

・一般財源 3,260 千円

(前年度当初予算額 1,699,020 千円)

担当課名	消防局消防企画総務課
担当者名	課長 片岡 英雄
電 話	内線 3771
	直通 086-234-0119

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 住宅用火災警報器の設置推進事業

## 1 事業の趣旨

火災から市民の生命を守るためには、死者の発生する割合の高い住宅火災から市民を守ることが最も重要です。

そのため、火災の早期発見に有効で、被害軽減に高い効果が期待できる住宅用火災警報器が全ての住宅に設置され、適切に維持管理される必要があります。

現在、岡山市の設置率は56%で、全国の81%と比べて非常に低い状況であることから、住宅用火災警報器の設置・普及を推進し、住宅における防火・安全性を向上させます。

## 2 事業内容

- 市内各学区・地区から防火への取組の進んだ町内会を1つずつ選定、計約2万世帯を対象に消防職・団員による戸別訪問指導を実施
- 奏功事例、設置後10年目の交換時期に関する事項も明記したリーフレットを作成、市広報紙に挟み込んで市内約28万世帯へ配布
- LPガス事業者等の各家庭と関係が構築され住宅用火災警報器も取扱いのある事業者への設置推進の協力依頼を強化

## 3 要求額

(1)歳出額 5,100 千円

(2)財源内訳

・一般財源 5,100 千円

(前年度当初予算額 500 千円)

担当課名	消防局予防課
担当者名	課長 松岡 浩志
電 話	内線 3772
	直通 086-234-9974

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 橋梁耐震補強事業

## 1 事業の趣旨

南海トラフ巨大地震の発生のおそれが指摘されている中、地震発生時には道路橋梁の落橋等が発生した場合には、二次災害の発生や道路ネットワークが寸断されることによる救急・救援活動や、緊急物資の輸送、復旧活動等への支障が懸念されています。

緊急輸送道路上の橋梁や鉄道・高速道路等を跨ぐ跨線・跨道橋の耐震補強を進め、落橋等を防止することにより、緊急輸送道路のネットワーク確保や二次災害を防止し、安全な都市インフラを確保することにより、道路利用者の安全・安心の更なる増進を図ります。

## 2 事業内容

### (1)事業内容

- ・耐震補強のための詳細設計の実施(2橋)
- ・耐震補強工事の実施(1橋)
- ・耐震補強工事の工事委託(2橋)

(2)期 間 平成21年度～平成30年度

## 3 要求額

(1)歳出額 195,000 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 107,000 千円
- ・地方債 79,000 千円
- ・一般財源 9,000 千円

(前年度当初予算額 395,000 千円)

担当課名	都市整備局道路港湾管理課
担当者名	課長 頼経 秀智
電 話	内線 3664
	直通 086-803-1416

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 住宅・建築物耐震改修等補助事業

## 1 事業の趣旨

南海トラフによる巨大地震の可能性が高いと指摘され、本市にも多大な影響を受けると懸念されるなかで、市民の安心・安全を確保するために、木造住宅の耐震診断、耐震改修及び建築物の耐震診断の補助を行い耐震化の促進を図ります。

## 2 事業内容

(1)対象建築物 市内に存する住宅・建築物で、昭和56年5月31日以前に着工されたものなど、市の要綱に合致するもの。

(2)補助対象者 対象建築物の所有者で、市税を完納しているなど市の要綱に合致するもの。

### (3)診断・改修補助内容

〔耐震診断〕・・・木造住宅・建築物

区 分	内容
木造住宅	耐震診断
	補強計画
戸建て住宅	耐震診断
建築物	耐震診断
要安全確認計画記載建築物※1	耐震診断

※1 耐震改修促進計画に指定される避難路沿道建築物で、耐震診断が義務化される

〔耐震改修〕・・・木造住宅・建築物

区 分	内容
木造住宅	全体改修
	部分改修
	耐震シェルター
	防災ベッド
要緊急安全確認大規模建築物※2	補強設計
	耐震改修

※2 不特定多数の者が利用する大規模な建築物で、耐震改修の促進を図るもの

## 3 要求額

(1)歳出額 222,690 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 111,341 千円

・県支出金 31,539 千円

・一般財源 79,810 千円

(前年度当初予算額 240,900 千円)

担当課名	都市整備局建築指導課
担当者名	課長 久保 代士夫
電 話	内線 4610
	直通 086-803-1445

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 空家等適正管理支援事業

## 1 事業の趣旨

適切な管理が行われていない空家等が防災、防犯、衛生、景観等の市民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることを受け、「空家等対策の推進に関する特別措置法」(以下「法」)及び「岡山市空家等の適切な管理の促進に関する条例」(以下「条例」)に基づき、空家等の利活用や適切な管理を促進させるために、所有者等の自主的な取組みを促すもの。

## 2 事業内容

平成27年度モデル事業をベースに、法及び条例と連携した助成を行う。

- 空家診断助成  
耐震・劣化診断の費用の一部を助成  
対象:特措法上の空家等
- 空家リフォーム助成  
リフォームに係る経費の一部を助成(一般・地域活性化【拡充】)  
対象:特措法上の空家等
- 空家除却助成  
老朽化した危険な空家等の除却に係る経費の一部を助成(一般・地域活性化【拡充】)  
対象:特措法上の特定空家等  
※いずれも上限額有  
※いずれの助成も特措法上の措置である勧告を受けた空家等は対象外

※「地域活性化」に関する補助制度を追加【拡充】

地域の交流やにぎわいを活性化させることを目的に、空き家を、体験宿泊施設、交流施設等に活用するための改修や、跡地をポケットパーク等へ活用するための除却を行う場合の経費の一部を一般分より補助率等を引き上げて助成するもの。

## 3 要求額

- (1)歳出額 30,000 千円
- (2)財源内訳
  - ・国庫支出金 4,500 千円
  - ・一般財源 25,500 千円

(前年度当初予算額 30,000 千円)

担当課名	都市整備局住宅課
担当者名	課長 矢吹 幸司
電 話	内線 4660
	直通 086-803-1466



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕

用水路等安全対策

**新規**

## 1 事業の趣旨

岡山市内においては、これまでも市民が用水路等へ転落することによる死傷事故が度々発生しており、道路管理者として用水路転落に対する安全対策の実施が急務となっています。このような状況下、地元や警察とも連携し、用水路等の危険箇所に対する安全対策を集中的に実施し、市民の通行の安全性の向上を図ります。

## 2 事業内容

### (1)事業内容

- ・用水路危険箇所の調査委託の実施

地元と協働により把握した危険性の把握、延長、断面測定作業、調査項目による採点、ランク付けなど

- ・用水路危険箇所の安全対策工事の実施

転落防止柵等設置(警察把握分:25箇所 市把握分:36箇所)

【平成28年度】警察把握分:25箇所 市把握分:19箇所

### (2)期 間 平成28年度～平成31年度

## 3 要求額

(1)歳出額 116,650 千円

### (2)財源内訳

・一般財源 116,650 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	経済局農村整備課	都市整備局道路港湾管理課
担当者名	課長 川上 広司	課長 頼経 秀智
電 話	内線 4570	内線 3664
	直通 086-803-1348	直通 086-803-1416
担当課名	都市整備局道路計画課	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	課長 平澤 重之	課長 山内 章宏
電 話	内線 3640	内線 4980
	直通 086-803-1696	直通 086-803-1499

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 下水道による浸水対策

## 1 事業の趣旨

近年の異常気象や市街地の進展などにより、市内で浸水被害が広範囲に発生した地区や常襲化している地区があるため、下水道施設の整備等により、浸水被害を軽減し、安全・安心な市民生活の確保及び財産の保護を図ります。

## 2 事業内容

浸水被害常襲地区(平田・浦安・芳田)の雨水渠及び雨水管の整備を昨年度に引き続き行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 484,100 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 185,450 千円  
・地方債 272,600 千円  
・一般財源 26,050 千円

(前年度当初予算額 441,500 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	計画担当課長 河原 浩一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 下水道施設の長寿命化・地震対策の推進

## 1 事業の趣旨

老朽化が進んでいる下水道施設について、市民生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の機能停止等を未然に防ぐため、限られた予算の中で整備費の平準化を図りながら施設の改築更新と耐震化を計画的に進めます。

## 2 事業内容

### ○管路耐震・長寿命化

重要な幹線等の耐震診断及び液状化判定

築造後50年以上経過した老朽管の調査及び管更正工事ほか

### ○ポンプ場長寿命化

錦・笹ヶ瀬・天瀬・巖井ポンプ場長寿命化工事ほか

### ○処理場長寿命化

岡東浄化センター水処理長寿命化工事委託ほか

## 3 要求額

(1)歳出額 2,929,394 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 1,269,635 千円

・地方債 1,556,600 千円

・一般財源 103,159 千円

(前年度当初予算額 1,636,131 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	計画担当課長 河原 浩一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 浸水対策特別事業

## 1 事業の趣旨

近年、地球温暖化等の急激な気候変動に伴い、台風の大型化やゲリラ豪雨などの集中的な降雨の増加が顕著となり、岡山市でも浸水被害が増大しています。

より効果的・効率的な浸水対策を行うためには、大規模な浸水対策施設の整備を実施する一方で、担当部局の異なる各種浸水対策施設を連携させることが重要であるため、局所的な浸水対策により、浸水被害の軽減を図ります。

## 2 事業内容

過去に浸水被害が発生した地区を中心に次の事業を実施する。

- 浸水地区の現地測量、モニタリング等(今保地区, 藤田地区)
- 緊急時における初動体制の整備(ポンプユニット等)
- 排水ポンプの増設及び基本設計等
- 排水ポンプの長寿命化計画の策定

## 3 要求額

(1)歳出額 133,293 千円

(2)財源内訳

・地方債 54,000 千円

・一般財源 79,293 千円

(前年度当初予算額 29,200 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	課長 山内 章宏
電 話	内線 4980
	直通 086-803-1434

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 水道管路耐震化等更新事業

## 1 事業の趣旨

水の安定供給にも寄与しつつ、南海トラフ巨大地震に備え、災害被害の極小化と最低限の給水確保を図ります。

## 2 事業内容

老朽管の更新を中心に、水道管路の更新及び耐震化を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 4,291,675 千円

### (2)財源内訳

・地方債 219,000 千円

・一般財源 4,072,675 千円

(前年度当初予算額 4,676,402 千円)

担当課名	水道局経営管理課
担当者名	課長 西井 保
電 話	直通 086-234-5914

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 水道施設耐震化等更新事業

## 1 事業の趣旨

水道水の安定供給にも寄与しつつ、南海トラフ巨大地震に備え、災害被害の極小化と最低限の給水確保を図ります。

## 2 事業内容

浄水設備、配水池などの水道施設の更新及び耐震化を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 4,089,535 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金	93,400 千円
・地方債	881,000 千円
・その他	7,200 千円
・一般財源	3,107,935 千円

(前年度当初予算額 2,207,050 千円)

担当課名	水道局経営管理課
担当者名	課長 西井 保
電 話	直通 086-234-5914

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 学校耐震改修整備事業

## 1 事業の趣旨

学校施設は、児童・生徒などの学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であり、耐震化の推進が喫緊の課題です。

公立学校施設は、岡山市の将来を担う子どもたちの命を預かる場所であり、「市有建築物の耐震化計画指針」を踏まえ、校舎の耐震化を推進します。

## 2 事業内容

○校舎耐震改修工事

小学校7校9棟、中学校7校10棟の耐震改修工事の実施

○校舎耐震改築工事

小学校3校7棟、中学校4校7棟の耐震改築工事の実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 5,492,846 千円

・小学校耐震改修事業費 1,781,586 千円

・中学校耐震改修事業費 3,711,260 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 606,527 千円

・地方債 3,026,900 千円

・一般財源 1,859,419 千円

(前年度当初予算額 7,624,048 千円)

担当課名	教育委員会事務局学校施設課
担当者名	課長 竹本 幹也
電 話	内線 3807
	直通 086-803-1576

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 公民館耐震改修整備事業

## 1 事業の趣旨

「岡山市有建築物の耐震化計画指針」に基づき、昭和56年以前建築の旧耐震基準で建てられた地区公民館及び分館の耐震診断を行った結果に基づき、現行の耐震基準と同等（RC造の建物で耐震改修促進法構造耐震指標のIs値が0.6以上、また、木造の建物で構造評点がIw値が0.7以上）に引き上げられるよう、危険度の高い建物から順次、耐震改修工事前年度実施設計を経て、耐震改修工事を進めます。

## 2 事業内容

平成28年度は、耐震診断を行った結果に基づき、RC造・S造の建物で耐震改修促進法構造耐震指標のIs値が0.3未満、危険度が高く緊急性を要する建物（3地区公民館、2分館）の耐震改修工事を行う。

また、残る危険度が高く緊急性を要する建物（2地区公民館、10分館）の耐震改修工事前年度実施設計を行う。

## 3 要求額

(1)歳出額 613,735 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 4,531 千円

・地方債 447,300 千円

・一般財源 161,904 千円

(前年度当初予算額 36,497 千円)

担当課名	中央公民館
担当者名	館長 片岡 延之
電 話	直通 086-272-7886



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 小中学校への災害用備蓄倉庫の設置 **新規**

## 1 事業の趣旨

平成25年度に策定した備蓄計画に基づき、災害時に避難所となる小中学校への分散備蓄を充実させるため、余裕教室等が確保できない学校へ備蓄倉庫を設置し、不測の事態への対応を強化します。

## 2 事業内容

余裕教室等がなく物資を備蓄できない小中学校のうち、倉庫設置が可能な学校について、平成28年度・平成29年度の2カ年で災害用備蓄倉庫を設置します。  
備蓄倉庫には、食糧、水、毛布その他生活必需品を備蓄します。

## 3 要求額

(1)歳出額 38,400 千円

(2)財源内訳

・地方債 38,400 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	危機管理室
担当者名	地域防災担当課長 安井 英明
電 話	内線 5854
	直通 086-803-1082

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕

自転車安全運転免許証交付事業

新規

## 1 事業の趣旨

市民への正しい自転車の交通ルールやマナーの周知と市民の交通安全意識の一層の向上を図るため、児童が自転車を本格的に乗り始める段階で交通ルールやマナーを楽しく学び、交通安全意識を高めることにより、自転車事故の防止につなげます。

## 2 事業内容

### (1)対象者

小学4年生から6年生(実施目標 小学校60校(回)、児童14,000人)

### (2)実施内容

自転車安全運転講習を行い、受講した児童に「自転車安全運転免許証(セーフティサイクル ライセンス)」を交付

### (3)実施方法

岡山市交通指導員による自転車交通ルール・マナーの講義と実技講習を受講した児童に対して自転車安全運転免許証を交付

## 3 要求額

(1)歳出額 3,550 千円

### (2)財源内訳

・一般財源 3,550 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	市民生活局生活安全課交通安全防犯室
担当者名	室長 青江 良浩
電 話	内線 3240
	直通 086-803-1106

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕

特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業

**新規**

## 1 事業の趣旨

平成27年11月、岡山市と岡山県警察本部との間で、刑法犯認知件数の減少と、体感治安の向上を目標とした覚書『「安全で安心なまちづくり」岡山市行動プラン』を締結しました。その取組みの一環として、特殊詐欺被害の未然防止の効果を見込み、詐欺対策機能を有した電話機の購入に補助金を交付する「特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業」を実施します。

## 2 事業内容

電話機200台を取付け、申し込み受付から配送、設置、設置後のアンケート調査を業務委託で行う。

### (1)対象者

市内在住の65歳以上の独居又は2人世帯の者

### (2)補助対象機器

非通知電話の不接続、通話先の事前確認、自動通話録音の機能を有した固定電話機

### (3)実施方法

申請者が委託業者を通して岡山市に補助申請し、交付決定後に委託業者が申請者宅に電話機を設置し、申請者は委託業者に補助金額を差し引いた電話機の代金を支払う。

### (4)補助台数

200台(平成28年度から平成32年度まで、各年度200台 5年間で合計1,000台)

### (5)補助率及び補助限度額

補助率:補助対象経費の1/2 補助限度額:1台あたり6,000円

## 3 要求額

(1)歳出額 3,900 千円

### (2)財源内訳

・一般財源 3,900 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	市民生活局生活安全課交通安全防犯室
担当者名	室長 青江 良浩
電 話	内線 3240
	直通 086-803-1106

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 防犯カメラ設置支援事業

## 1 事業の趣旨

街頭犯罪や少年非行等の防止を図り、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため、平成27年度に引き続き、防犯カメラを設置する住民団体に対して設置費用の一部を支援する「岡山市防犯カメラ設置支援事業」を実施します。

なお、平成27年11月、岡山市と岡山県警察本部との間で締結した『「安全で安心なまちづくり」岡山市行動プラン』の施策となっています。

## 2 事業内容

### (1)対象者

町内会、自治会、商店街組合その他の地域的な共同活動を行う団体

### (2)実施内容

防犯カメラの購入(賃貸を含む)及び設置工事費等に要する経費の90%以内で、防犯カメラ1台につき30万円を上限として350台分補助

## 3 要求額

(1)歳出額 105,077 千円

### (2)財源内訳

・県支出金 52,500 千円

・一般財源 52,577 千円

(前年度当初予算額 22,500 千円)

担当課名	市民生活局生活安全課交通安全防犯室
担当者名	室長 青江 良浩
電 話	内線 3240
	直通 086-803-1106

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地域防犯ボランティア支援事業

新規

## 1 事業の趣旨

平成27年11月、岡山市と岡山県警察本部との間で、刑法犯認知件数の減少と、体感治安の向上を目標とした覚書『「安全で安心なまちづくり」岡山市行動プラン』を締結しました。その取組みの一環として、嘱託職員2名を新たに配置し、地域の防犯ボランティア団体への現地指導や啓発活動などを行う「地域防犯ボランティア支援事業」を実施します。

## 2 事業内容

### (1)実施内容

地域防犯ボランティア団体等に対する各種防犯指導や啓発活動等

### (2)実施方法

地域の集会所等での防犯教室の実施、現地での防犯指導および啓発活動等

## 3 要求額

(1)歳出額 3,618 千円

### (2)財源内訳

・一般財源 3,618 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	市民生活局生活安全課交通安全防犯室
担当者名	室長 青江 良浩
電 話	内線 3240
	直通 086-803-1106

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 東山斎場再整備事業

## 1 事業の趣旨

現在の東山斎場は、建設以来40年余を経過し老朽化が進むとともに、耐震化に対応できていないことに加え、待合室が狭くバリアフリーにも対応できていないなどの課題があることから現地での建替え整備を平成26年度から平成30年度の予定で進めています。

## 2 事業内容

既存の火葬炉を稼働させながら、斎場を再整備します。

- ・平成25年度 測量、地質調査、駐車場の実施設計及び都市計画決定
- ・平成26年度 駐車場及び雨水貯留槽整備工事、東山斎場再整備事業者の選定
- ・平成27年度 駐車場及び雨水貯留槽整備工事、東山斎場再整備実施設計
- ・平成28年度 既存待合棟の解体工事、許認可の手続き
- ・平成29年度 新火葬棟の建替工事
- ・平成30年度 新火葬棟の建替工事 供用開始予定

## 3 要求額

(1)歳出額 627,829 千円

(2)財源内訳

- ・地方債 543,300 千円
- ・一般財源 84,529 千円

(前年度当初予算額 230,319 千円)

担当課名	市民生活局生活安全課
担当者名	課長 大畑 誠
電 話	内線 3230
	直通 086-803-1277

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 新斎場整備事業

## 1 事業の趣旨

東山斎場を現地で再整備することに伴い、環境に配慮した最新の火葬炉設備が大型化していることに加えて敷地的な制約から、現在20炉ある人体炉が14炉に減少します。

平成24年の調査より、将来的な火葬需要ピークの必要炉数予測から、新斎場の整備により火葬炉数不足を補うとともに、将来的な火葬需要への対応と災害時等のリスク分散の必要性から新斎場の整備を進めています。

## 2 事業内容

平成27年度は、環境影響調査等を実施し、その調査結果を地元へ説明を行いました。また、地形測量、都市計画に向けての基礎調査を実施しています。

平成28年度は、引き続き基礎調査を実施します。その後、都市計画決定の手続きを始めます。

## 3 要求額

(1) 歳出額 44,346 千円

(2) 財源内訳

・地方債 9,000 千円

・一般財源 35,346 千円

(前年度当初予算額 30,149 千円)

担当課名	市民生活局生活安全課
担当者名	課長 大畑 誠
電 話	内線 3230
	直通 086-803-1277

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の改定

新規

## 1 事業の趣旨

国が策定する予定の地球温暖化対策に関する計画や、市の総合計画長期構想の策定を踏まえ、現行の岡山市環境基本計画及び岡山市地球温暖化対策実行計画の改定を行います。

## 2 事業内容

(1) 岡山市環境基本計画、岡山市地球温暖化対策実行計画及び岡山市地域省エネルギービジョンの統合

これらの計画等は内容の重複や類似が多くみられる。市民協働により施策を推進するには、市民にわかりやすい計画に改める。

(2) 図解、グラフ等内容のビジュアル化

環境施策は長期間にわたり持続的に取り組むことが求められるため、将来の担い手となる若年層が理解しやすい内容にする。

なお、岡山市環境基本計画は、現行計画の中で平成28年度に見直すこととしている。また、岡山市地球温暖化実行計画の温室効果ガス削減目標値は、国の政策や中長期ロードマップが示された時点で見直しを行うこととしている。

## 3 要求額

(1) 歳出額 12,744 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 12,744 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 榎尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1282



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地球温暖化対策推進事業

## 1 事業の趣旨

地球温暖化対策実行計画で定めた温室効果ガス排出量の削減目標の達成に向け、市民・事業者と協働して省エネルギーの取組を行うことにより環境にやさしいライフスタイルへの転換を図ります。

また、市が率先して導入を促進している市有施設への太陽光発電や電気自動車の導入等を通じて、安全・安心で低炭素型のまちづくりに努めます。

## 2 事業内容

### ○スマートエネルギー導入促進事業

- ・住宅・事業所への創エネ、省エネ、畜エネ機器の導入に対して助成

### ○省エネルギー啓発事業

- ・環境パートナーシップグリーンカンパニー活動に対する支援
- ・ライトダウンキャンペーン及びエコドライブ講習の実施

### ○市有施設等の省エネルギー化促進事業

- ・太陽光発電設備・電気自動車の導入
- ・二酸化炭素削減ポテンシャル診断

### ○環境保全推進事業

- ・市民の自主的な地球環境保全活動への支援
- ・水辺の教室、いきものフェスティバル等の環境教育の実施

## 3 要求額

(1)歳出額 328,115 千円

### (2)財源内訳

・その他 10,646 千円

・一般財源 317,469 千円

(前年度当初予算額 385,295 千円)

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 榎尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1282

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕

生ごみ削減のための堆肥化推進事業

**新規**

## 1 事業の趣旨

ごみの減量化・資源化を推進するため、可燃性家庭ごみの約4割をしめる厨芥類(生ごみ)を減量することは、各自治体においては急務であり、本市においても毎年の「家庭ごみ組成分析調査」で、厨芥類(生ごみ)の減量を指摘されています。

すでに、可燃ごみ削減のため、生ごみ処理機・コンポスト購入補助を実施していますが、市民に「生ごみを堆肥化し、ごみを減らす」ことを手軽にできる「ダンボールコンポスト」の使用を普及促進し可燃ごみの減量化・資源化を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 内容

- ① ダンボールコンポストと堆肥セットを希望者に配付し、家庭の生ごみで堆肥を作り、出来た堆肥をスーパー等の協力店で回収する。
- ② 回収する際に、希望により「ダンボールコンポストセット再配布」もしくは「協力店で使えるポイント付与」をする。
- ③ 協力店からの堆肥回収は障害者雇用施設が行い、堆肥を施設で熟成させ肥料にし、花の栽培などに使用してもらう。
- ④ 肥料を使用して出来た花などの販売について、市で広報する。

### (2) 期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日

### (3) その他

事業実施については普及促進業務と堆肥管理業務の2つの業務が必要であると考えている。特に普及促進業務については、岡山市エコ技術研究会(産学官民の協働により廃棄物処理・再資源化に関する調査研究及び技術開発を行い、循環型社会の形成に寄与する任意の団体)の技術が不可欠となる。

## 3 要求額

(1) 歳出額 4,500 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 4,500 千円  
(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	環境局環境事業課
担当者名	課長 森峰 清
電 話	内線 3970
	直通 086-803-1297

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 生物多様性地域戦略策定事業

## 1 事業の趣旨

科学的な知見と多様な主体(市民、企業、環境保全団体等)の参画により、地域の特色や実情、これまでの取組などを踏まえ、本市の豊かな生態系を次世代に引き継いでいくために生物多様性の保全の道筋となる岡山市生物多様性地域戦略を策定します。

## 2 事業内容

### (1) 生物多様性地域戦略策定

岡山市生物多様性地域戦略の策定を通じて生物多様性の重要性を市民、企業等に周知し、生物多様性の保全に関する取り組みを促す。

### (2) 意見収集

市民をはじめ多様な主体の意見を生物多様性地域戦略に反映させるため、主体別アンケートをはじめタウンミーティング、パブリックコメントを行う等により、市民等の意見の反映を図る。

## 3 要求額

(1) 歳出額 7,426 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 7,426 千円

(前年度当初予算額 3,360 千円)

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 榎尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1282

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 汚水処理施設整備

## 1 事業の趣旨

岡山市の下水道普及率(平成26年度末65.1%)は、全国的(平成26年度末全国平均77.6%)にも低い状況にあります。14万人の汚水処理未普及人口の早期解消に向け整備を促進し、良好な水環境の保全を図ります。

## 2 事業内容

市街化区域の整備促進

操明・東岡山・妹尾・庭瀬・津高地区などの市街化区域の整備に取り組みます。

## 3 要求額

(1)歳出額 4,976,274 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 776,515 千円  
・地方債 4,057,700 千円  
・一般財源 142,059 千円

(前年度当初予算額 5,800,000 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	計画担当課長 河原 浩一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金

## 1 事業の趣旨

健康で快適な暮らしや良好な水環境の保全を図るため、合併処理浄化槽と下水道等との役割分担による総合的な生活排水処理対策に取り組んでいます。

下水道計画区域外や当面整備予定がない区域内で、自宅に合併処理浄化槽を設置する個人に対して、申請に基づき補助金を交付しています。

また、既存住宅で汲取便所・単独処理浄化槽から、し尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽へ転換するものについては、当面3年間補助金の上乗せを行うことにより、合併処理浄化槽の設置促進を図り、生活排水処理対策を加速させ、公共用水質の改善を進めていきます。

## 2 事業内容

○合併処理浄化槽の新設に対する補助

- ・国基準額(5人槽 332千円など)による補助

○既存住宅の汲取便所・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する補助

- ・国基準額に25%上乗せ(5人槽 415千円など)による補助

## 3 要求額

(1)歳出額 434,875 千円

(2)財源内訳

・その他 157,852 千円

・一般財源 277,023 千円

(前年度当初予算額 434,784 千円)

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 榎尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1294

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 一宮浄化センター施設改修事業

## 1 事業の趣旨

老朽化した処理施設について、現有施設を利用し公共下水道への接続に向けた改修を行い、設備の小型化、効率化による維持管理費の削減を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 内容

- ・前処理脱水機の設置工事及びプラント設備の更新工事
- ・上記工事についての監理業務委託

### (2) 期間

平成26年度～平成30年度

## 3 要求額

(1) 歳出額 910,214 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 299,257 千円
- ・地方債 538,600 千円
- ・その他 59,851 千円
- ・一般財源 12,506 千円

(前年度当初予算額 484,000 千円)

担当課名	環境局環境施設課
担当者名	課長 福林 繁
電 話	内線 3980
	直通 086-803-1311

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 総合計画の策定

## 1 事業の趣旨

人口減少問題や少子高齢化をはじめとする時代の変化や課題に対応するため、新たな総合計画を策定し、中長期的な展望に立ったまちづくりを進めます。

平成27年度に策定する長期構想(仮称)では、「都市づくりの基本目標」と「将来都市像」を定めるとともに、その実現に向けた「都市づくりの基本方向」を明らかにすることとしており、平成28年度には、長期構想(仮称)に基づく施策の具体的展開を示す前期中期計画(仮称)を策定します。

## 2 事業内容

### ○基本政策審議会

学識経験者等15名で構成する基本政策審議会を開催し、前期中期計画(仮称)について審議します。

### ○前期中期計画(仮称)(素案)への意見募集

前期中期計画(仮称)(素案)についてパブリックコメントを実施するとともに、各種団体との意見交換会、出前説明会を開催し、市民等の意見を反映させます。

### ○市民等への周知

総合計画を広く市民等に周知し、協働によるまちづくりを進めるため、総合計画の冊子、概要版を作成します。

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
総合計画	長期構想(仮称):10年間									
	前期中期計画(仮称):5年間					後期中期計画(仮称):5年間				

## 3 要求額

(1)歳出額 29,560 千円

(2)財源内訳

・一般財源 29,560 千円

(前年度当初予算額 11,700 千円)

担当課名	政策局総合計画課
担当者名	課長 門田 和宏
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1043

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 連携中枢都市圏ビジョンの策定

## 1 事業の趣旨

人口減少・超高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、圏域の住民が安心して快適な暮らしを営めるよう、新たな市町村連携の仕組みとして国が推進する連携中枢都市圏構想に取り組みます。

## 2 事業内容

本市が中心となって関係自治体8市5町との連携について協議・検討し、平成28年度中に「連携中枢都市圏宣言」、「連携中枢都市圏ビジョン懇談会の設置」、「連携協約の締結」及び「都市圏ビジョンの策定」を目指します。

### ○連携中枢都市圏宣言

本市が、関係自治体との連携に基づき、圏域全体の将来像を描き、圏域全体の経済をけん引し、圏域の住民全体の暮らしを支えるという役割を担う意思の宣言

### ○連携協約の締結

関係自治体と連携して事務を処理するに当たっての基本的な方針及び役割分担を定める協約を締結

### ○都市圏ビジョンの策定

連携中枢都市圏における将来像の実現に向けた、連携協約等に基づき推進する具体的取組など、おおむね5年間の計画を策定

関係自治体 岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和气町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町

## 3 要求額

(1)歳出額 7,439 千円

(2)財源内訳

・一般財源 7,439 千円

(前年度当初予算額 300 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	課長 宮安 好子
電 話	内線 3580
	直通 086-803-1040



# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 第2回瀬戸内4県都市長会議の開催

**新規**

## 1 事業の趣旨

岡山市、広島市、高松市及び松山市は、それぞれの地域における中心的役割を持ち、周辺自治体を含めた地域の発展に取り組んでいるところですが、「瀬戸内」というブランドイメージを持つ4市が一体的なつながりを持ち、広域連携による新たな発展を目指します。

## 2 事業内容

「瀬戸内」の中心都市である岡山市、広島市、高松市及び松山市の4市が連携して、観光振興や販路拡大などの共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮することを目指し、4市の市長による会議の場を設けます。

○開催日程 平成28年秋

○開催場所 岡山市

第1回会議での協議結果に基づき、マレーシアでのプロモーションを4市で連携して実施します。(事業実施担当は観光コンベンション推進課)

## 3 要求額

(1)歳出額 350 千円

(2)財源内訳

・一般財源 350 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	課長 宮安 好子
電 話	内線 3580
	直通 086-803-1040

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 第78回全国都市問題会議の開催 新規

## 1 事業の趣旨

全国の市長、議員、自治体関係者及び研究者等が一堂に会し、時勢を踏まえた都市問題や都市行政課題について討議を行う「全国都市問題会議」を開催します。

## 2 事業内容

- (1) 実施内容 例年2,000人程度が参加し、都市問題や都市行政の緊急課題に関わるものをテーマとして取り上げ、基調講演、パネルディスカッションなどを行います。
- (2) 開催日時 平成28年10月6日(木)～7日(金)
- (3) 開催場所 岡山国際ホテル
- (4) 主催 全国市長会、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所、(公財)日本都市センター、岡山市

## 3 要求額

(1) 歳出額 29,170 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 29,170 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	政策局行政改革推進室
担当者名	室長 後河 正浩
電 話	内線 3591
	直通 086-803-1096

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 区役所・地域センター等整備事業

## 1 事業の趣旨

市民サービスの拠点となる区役所等の施設について、地域のまちづくりや防災の拠点として持続的なサービスが提供できるよう、市有施設等との複合化などによる、効率的な整備を進めます。

## 2 事業内容

○ 中区役所整備事業 675,064千円

中区役所を行政サービス及び防災拠点の施設として建替整備

○ 吉備地域センター整備事業 48,417千円

吉備地域センターを、吉備公民館との合築により建替整備し、移転開設後は現行の地域センター庁舎を解体撤去し、跡地を駐車場として整備

○ 高松地域センター整備事業 125,817千円

高松地域センターを、旧高松支所跡地に西消防署吉備津出張所との合築により整備

○ 福田地域センター整備事業 6,620千円

福田地域センターを、福田公民館に併設することにより整備

## 3 要求額

(1)歳出額 855,918 千円

(2)財源内訳

・地方債 703,400 千円

・一般財源 152,518 千円

(前年度当初予算額 630,944 千円)

担当課名	市民生活局区政推進課
担当者名	課長 好本 信明
電 話	内線 3750
	直通 086-803-1033

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 公共施設等マネジメント推進事業

## 1 事業の趣旨

今後、公共施設等のまとまった更新時期が到来し、また、将来的な人口減少と少子高齢化が見込まれる中、施設需要の変化が予想されることから、インフラも含めた公共施設の統廃合や長寿命化、公民連携等によるマネジメントを推進することによって、財政負担の軽減や平準化を図るとともに公共施設等の最適な配置の実現を目指します。

## 2 事業内容

### (1)公共施設総合管理計画策定事業

- 平成27年度に構築する「施設管理支援システム」の施設データ等を踏まえ、施設類型ごとの方針を盛り込んだ「公共施設等総合管理計画」を平成28年度中に策定します。
- 全庁的な取組体制として平成26年度に設置した「岡山市公共施設等マネジメント推進本部」を運営し全庁一体となった取り組みを推進するとともに、公共施設等マネジメントへの市民の関心を高めるため、シンポジウムや出前講座などを行います。

### (2)固定資産台帳整備事業

- 土地、建物の数量情報等を記載する公有財産台帳や道路台帳等各部署で管理している法定台帳、物品台帳等を1つに統合し、市全体の資産を網羅的に把握するとともに、従来把握していなかった資産価値情報等を加えた台帳として整備することにより、地方公会計の財務諸表の補助簿として使用しつつインフラを含めた公共施設等マネジメントにも活用していきます。

## 3 要求額

(1)歳出額 74,170 千円

(2)財源内訳

・一般財源 74,170 千円

(前年度当初予算額 191,000 千円)

担当課名	財政局財産活用マネジメント推進課
担当者名	課長 今尾 繁
電 話	内線 4430
	直通 086-803-1150

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 PPP(公民連携)事業

## 1 事業の趣旨

公共施設等マネジメントにおける、市と民間とのハコモノの相互利用のために有効な手段や方法を探るとともに、民間との情報の提供・交換・共有を行うことでマネジメントの促進を図ります。

## 2 事業内容

- 平成27年度の内閣府事業「PPP/PFIに関する地域プラットフォーム形成支援」を踏まえ、「岡山PPP交流広場」民間提案活用支援事業による、廃止施設等の再活用・売却を促進

※PPP Public Private Partnership

公共と民間が連携して、それぞれお互いの強みを活かすことによって、最適な公共サービスの提供を実現するもの

## 3 要求額

(1)歳出額 4,800 千円

(2)財源内訳

・一般財源 4,800 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	財政局財産活用マネジメント推進課
担当者名	課長 今尾 繁
電 話	内線 4430
	直通 086-803-1150

# 平成28年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 社会保障・税番号制度に対応した市民サービスの提供

## 1 事業の趣旨

平成28年1月からの社会保障・税番号制度の開始に伴い、個人番号カードによる多目的利用(コンビニ交付)が可能な証明書に戸籍関係の証明書を追加し、市民の利便性の向上を図ります。

## 2 事業内容

### (1)実施内容

コンビニ交付による戸籍関係証明書(戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍の附票の写し)の発行に対応するための関係システムの改修

### (2)サービス開始時期

平成29年2月(予定)

(先行実施分(住民票の写し、印鑑登録証明書) 平成28年2月)

## 3 要求額

(1)歳出額 85,290 千円

### (2)財源内訳

・一般財源 85,290 千円

(前年度当初予算額 25,938 千円)

担当課名	市民生活局区政推進課
担当者名	課長 好本 信明
電 話	内線 3750
	直通 086-803-1033